



シニアネットフォーラム2010

In 北海道

＝シニア情報生活アドバイザー活動研究会＝

◇広い大地 北海道にシニアネットの輪を広げよう

今までも そして これからも シニアネットで
生きがいつくり !!

報 告 書

平成 22 年 11 月

財団法人 ニューメディア開発協会

シニアネットフォーラム 2010 in 北海道

ー シニア情報生活アドバイザー活動研究会 ー

広い大地 北海道にシニアネットの輪をひろげよう

今までもそしてこれからもシニアネットで生きがいづくり



この催しは競輪の補助金を
受けて開催いたします。

■ 日 時 2010年10月21日(木) 13時～17時40分
■ 会 場 KKRホテル札幌5F 丹頂の間
■ 主 催 財団法人ニユーメディア開発協会 ■ 協 力 マイクロソフト株式会社
■ 共 催 とからシニアネット
■ 事務局 新陽パソコン倶楽部
■ 後 援 経済産業省 北海道 札幌市 札幌市教育委員会

目 次

I フォーラムの概要

1.	フォーラムの趣旨	1
2.	実施概要	2
3.	プログラム	3
4.	まとめ	4

II プログラムの詳細

1.	主催者挨拶	6
2.	来賓挨拶	8
3.	基調講演	10
4.	活動報告	15
5.	特別講演	22
6.	イチオン講座紹介	27
7.	総 括	34
8.	交流広場	36

III 付属資料

1.	イチオン講座解説	39
2.	アンケート	44

開催の主旨

近い将来、全人口の4人に一人が65歳以上の高齢者が占める事が予想されている中で、高齢者がいつまでも生き生き、そして楽しく充実した生活を送る為に、情報技術(IT)の活用が大切と考え、旧通商産業省（現経済産業省）が提唱したのが「メロウ・ソサエティ構想」です。

そうした中で、ITを活用して、自己実現を計りたい、或いは、シニア社会に少しでも貢献したいとする高齢者同士が集い、高齢者へのIT講習を始めとして、様々な社会参加活動を、其々の地域で活発に展開している「シニアネット」は、これからも、これらの活動に加えて、地域の自治体と協力し、地域の情報化の促進や街づくり等々に期待が高まる事が予想されます。

このような状況の中で、高齢者が高齢者にパソコン・インターネットの楽しさを指導する事を目的として、財団法人ニューメディア開発協会が促進している「シニア情報生活アドバイザー」制度は、各方面から関心と期待が高まっています。

その為、これまで経済産業省や財団法人JKA、シニアネット諸団体の協力を得て、シニアネットの普及・拡充を図るべく、全国的に「シニアネットフォーラム」を開催してきた。

この度、広い北海道の中で、シニアネットとして、或いはパソコンを指導している団体として、夫々活発に活動していますが、地域性・会の発足の経緯等もあり、横の繋がりが、情報交換等が希薄な実態に鑑み、北海道で開催する事としました。

このフォーラムを通じて、交流・連携を深め、そして、パソコン技術等の情報の共有化を推進することで、各団体・参加者の活力になり、ひいては各団体の活動の活性化、拡大を実現し、各地域で存在感ある団体として認知されると共に、これを機に、北海道各地域にシニアネットの芽が出る事を期待したいと考えています。



シニアネットフォーラム 2010 in 北海道

—シニア情報生活アドバイザー活動研究会—

シニアネット *今までも そしてこれから*

開催趣旨

超高齢化社会の中で、パソコンを通じて活動するシニアネット並びにシニア情報生活アドバイザーの役割は更に重要です。

この会を通じて、団体間の連携、アドバイザーの交流を深め地域シニア社会の活性化に貢献します。

I) 基調講演 (13:15~14:15)

演題：挑む 勇 気

～好奇心はシニアの特効薬～

講師：中田 美知子 さん



株式会社 エフエム北海道 取締役

<http://www.air-g.co.jp/>

II) セッションA (14:25~15:25)

・活動紹介

NPO 法人 とかちシニアネット

理事長 高橋克司 氏

NPO 法人 札幌シニアネット

副理事長 武田政弘 氏

NPO 法人 いぶりシニアネット

理事長 工藤恵美子氏

III) 特別講演 (15:30~16:20)

・株式会社マイクロソフト

IV) セッションB (16:25~17:25)

・イチオシ講座

NPO 法人とかちシニアネット

新陽パソコン倶楽部

日時：2010年10月21日(木)

開場 12時30分(開演：13時)

会場：KKR ホテル札幌 (5F 丹頂)

(札幌市中央区北4条西5丁目/011-231-6711)

入場無料

□主催 / 財団法人ニューメディア開発協会 □共催 / NPO 法人とかちシニアネット

□後援 / 経済産業省 ・北海道 ・札幌市 ・札幌市教育委員会

□申込方法：フォーラム及び懇親会、参加ご希望の方は下記アドレスよりお申し込み願います。

<http://www.tokachisenior.net/>

□事務局 / 新陽パソコン倶楽部

プ ロ グ ラ ム

12:00～13:00	受 付	
13:00～13:15	開 会	
	主催者挨拶	岡部 武尚（財団法人ニューメディア開発協会）
	来賓挨拶	・北海道経済産業局 地域経済部長 友田 正敏 氏 ・札幌市副市長 小澤 正明 氏
13:15～14:15	基調講演	挑む勇氣 ～好奇心はシニアの特効薬～ 中田 美知子 氏 株式会社 エフエム北海道 取締役
14:15～14:20	休 憩	
14:20～15:20	活動報告	・NPO法人とかちシニアネット 理事長 高橋 克司 氏 ・NPO法人札幌シニアネット 副理事長 武田 政弘 氏 ・新陽パソコン倶楽部 顧問 横田 昌樹 氏
15:20～15:25	休 憩	
15:25～16:15	特別セミナー	大島 友子 氏 マイクロソフト株式会社技術統括室 マネージャー
16:15～16:20	休 憩	
16:20～17:30	イチオン講座紹介	・PowerPointでアニメ&サウンドのコラボ NPO法人とかちシニアネット 前川 勲幸 氏 ・イラスト・ショートタイム 新陽パソコン倶楽部 大石美香子 氏 ・フォトショップで、パノラマ写真 NPO法人とかちシニアネット 福原 季昭 氏 ・EXCELでART NPO法人とかちシニアネット 高橋 克司 氏
17:30～17:40	総 括	NPO法人とかちシニアネット 高橋 克司 氏
18:00～19:30	懇親会	3階 鳳凰の間

ま と め

- 1 当初計画した参加者 100 名を大幅に上回る 150 名の参加を得て、大変盛況のうちに終える事ができた。

広い北海道で、シニアネット団体として、ニューメディア開発協会に登録しているのは4団体で、その団体間の情報交換・連携はこれまで殆ど無いに等しい状況にあった。

このフォーラムを通じて、各団体間の交流に主眼を置き、並びに、各地域で活動している団体の方に参加をして貰う、そして、北海道内の行政等の関係者、シニアネット活動に関心のある方に参加をして貰う事であった。

- 2 その結果、事前に参加登録をされた人数 102 名、他に当日参加されたが 48 名で、シニアネットの活動に対する関心が高い事を示していると判断できる。
- 3 共催が、とちシニアネットであり、帯広市で開催を計画したが、フォーラムの主旨に鑑み、多くの方に参加してもらう事を優先に札幌市の開催としたが、その意味で初期の目的を果たす事ができた。
- 4 時間の関係で、各セッションで質疑応答が取れなかったのが反省である。

5 アンケート結果

回収が 55 名で参加人数 150 名からすると回収率が悪かった要因は、懇親会への時間が迫っていたためアンケートに答える時間が足りなかったと思う。

- (1) 「シニアネットの活動等に理解が深まりましたか」に対して、殆どの方がシニアネット会員として活動している事ではありますが、90%以上の方が、深まったと回答しています。
 - (2) 「身近なシニアネットに参加してみたい」と回答された方が、8 名いました。
この方は当日参加申込した 48 名の内 8 名と言うのは、関心のある方が参加したと思われます。
 - (3) 「他の団体との交流は必要ですか」に対して、殆どの方が、必要と考えていると回答しています
少数意見ではありますが、所属団体の活動で十分、又、其々の団体の発足経緯からして、地域・環境が異なるので、交流は難しいのではないかなという意見があった。
 - (4) 「イチオシ講座紹介」で、挑戦してみたい講座はどれですか 質問に対して、4 講座殆ど同数の結果でした。その意味では、各団体がどのような講座を行っているか情報不足の中で、4 講座紹介の試みは、一定の評価がなされたものと思われます。
- 6 アンケートの結果を総合的にみて、他の団体はどんな活動をしているのか、その事を知って、情報交流は必要だと認識して頂いたと思うので、フォーラムの成果を地域に持ち帰り、多くのシニアの方に伝えて頂ければと切望します。

プログラムの詳細

今までも そして これからも
シニアネットで生きがいつくり



財団法人 ニューメディア開発協会
理事長 岡部 武尚

皆さん、こんにちは。ただいまご紹介いただきましたニューメディア開発協会理事長の岡部でございます。本日はシニアネットフォーラム 2010 in 北海道を開催いたしましたところ、このように多くの方の参加をいただきまして、まずお礼を申し上げます。

本日のシニアネットフォーラムでございますけれども、8年ぶりに、ここ札幌において開催することになったわけでございます。このシニアネットの開催にあたりまして、このように多くの方々のご参加をいただくとともに、経済産業省様も北海道庁様、札幌市様、札幌市教育委員会様からご後援を頂戴いたしまして、まずもってお礼を申し上げます。

さて、今まさに日本は長引くデフレ経済の中にあリまして、未曾有の不況化にあるわけでございますけれども、国民全体も大きな閉塞感の中にあるわけでございます。一方、世界の 68 億人の人口がございすけれども、この人口が今後 40 年後には 90 億に増加すると言われていたわけでございますけれども、我々日本だけが急速な人口減少と高齢化が進んでおります。ご案内の通りでございますけれども、今や 65 歳以上の高齢者の人口というものが、2,944 万人と、全人口の 23.1%を占めると言われています。25 年後の 2047 年には、この数字が 33.7%、実に全国民の 3 分の 1 以上は高齢者になると言われておるわけございまして、このような状況は世界で、いまだかつて誰も経験したことのない、まさに超高齢社会ということになるのではないかとおられておるわけでございます。

また、少子化の進行でございますけれども、15 歳から 65 歳までの、いわゆる生産年齢人口というものを見ますと、今後 50 年、46%減少するというふうに言われておりますけれども、今後の日本の経済成長、あるいは発展を支えるためにも、我々といいますか、私もシニアではございすけれども、シニアがまだまだ第一線で活躍をして、社会を牽引していくことが必要ではなかろうかと思うわけでございます。

地域におきましても、地域再生の有力な担い手としてシニアの活躍がますます求められていくのではないかと思います。他方、我々シニア自身におきましても、安全・安心で快適な社会生活を送っていくためにも、自分自身の意識や、あるいは自らの生き方を変えて、地域での新しいライフスタイルを実現していくことが必要になってくるわけでございます。このような社会の大きな流れに対応するために、私ども財団法人ニューメディア開発協会では経済産業省様のご指導を受けながら、従来からこの活動を進めているわけございまして、シニアが情報技術を活用し、円熟した生きがいある豊かな老後を送れる、社会に貢献できるような高齢者自立参加型情報化社会を作り上げるというような目的を達成するために、シニアネット構想を平成 12 年以来進めておりまして、現在、10 年を既に超えるというような段階になっているわけでございます。

シニアネットの数でございますけれども、全国で 122 団体、シニアネットで養成されますシニアネットアドバイザーの数は、資格取得が全国で 4,020 名になり、この内およそ 3,000 名の方々返しが実際の第一線でシニアネットの活動に参画し、活動して頂いているわけでございます。

北海道でございますけれども、北海道にはシニアネット団体が 4 団体ございまして、シニア情報生活アドバイザーは 128 名になっております。これは私どもニューメディア開発協会に参画をしているシニアネットの状況でございます。

残念ながら北海道のシニアネットの活動を見ますと、まだまだ地域的に温度差が大きいわけございまして、各市町村でさらなるアドバイザーの養成と普及をお願いしたいと思っているわけでございます。

シニアネットの役割でございますけれども、シニアが自己実現の場を求めて得意な IT を活用してさまざまな社会活動に参加できるような仕組み、シニアの居場所や出番のある社会を作る、そういう仕組み作りをしていくということではないかと思っています。シニアが地域主権の時代に、自治体や地域の企業の強力なパートナーになり、地域コミュニティの活性化、あるいは地域の新しいサービス、あるいは事業や産業の創生、地域課題の解決に貢献をしていただければと思っているわけでございます。

今やシニアがメジャーな時代になりつつあるわけございまして、シニアの方々がこれまで培ってきた知識や経験や、あるいは技術というものを十分に活用して、地域社会に貢献いたすとともに、豊に生きがいのある人生作りに再チャレンジしていただきたいと思っております。

本日のフォーラムでは、基調講演で株式会社 FM 北海道取締役の中田美知子様、それから特別セミナーでは、マイクロソフト株式会社の技術統括室マネージャーの大島 友子様にご講演を頂戴することとなっております。本日ご出席の皆さまにおかれましては、多くの方々との交流を深められますとともに、この成果を日頃の生活や活動のご参考にされ、厳しさの増す高齢化時代を豊かに生き抜いて頂きたいと思っておりますのでございます。

最後になりましたけれども、各セッションにご出席・お話をいただく講師の方々、ならびに本日の開催にあたりご協力を頂きました NPO 法人十勝シニアネット様、新陽パソコン倶楽部様、マイクロソフト様はじめ多くの関係者の皆さまに心より感謝を申しあげまして、開催のご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

更なる情報交換、横のネットワークを生かして
地域で活躍



経済産業省 北海道経済産業局
地域経済部長 友田 正敏

皆さん、こんにちは。北海道経済産業局、地域経済部長、友田と申します。よろしくお願い致します。本日はシニアネットフォーラム 2010 in 北海道、このように大変盛況に開かれましたこと、まずはお喜び申し上げるところでございます。私、北海道の経済産業局、地域経済部長、この8月から来ております。

経済産業省も、いろんな産業政策、経済政策等々をやっておりますけれども、このようなイベントというのを力を入れていくべきだなと、改めて感じているところでございます。

先ほど、岡部理事長よりお話がありましたけれども、我が国は少子高齢化がどんどん進んできております。全国の中でも北海道は非常に顕著にこういう傾向が見られるところでございます。そういう中で情報化時代と言われて久しいわけでございますけれども、昨今でありますと、特にクラウドの問題ですとか、それからスマートコミュニティと言われていた部分もあります。これもやはり IT を活用してやっていく、これからますます IT 情報化が進んでいく中だと思っています。

私ども経済産業省では、シニアの方々、積極的に社会参加をいただくということで、いろんな情報システムを活用されて生活に溶け込んだゆとりと豊かさを感じられるような社会の創造というのを目指していろんな活動をしているところでございます。そのような中で、岡部理事長がおられます財団法人ニューメディア開発協会では、今ほどご紹介がありましたシニア情報生活アドバイザーを導入され、このような取り組みに非常に積極的に役目を果たされております。私どももこれを応援していきたいと思っておりますので、その支援等をやらせていただきたいと思います。

このフォーラムですけれども、シニアの方々、IT 活用を促進して地域の、先ほど道内4団体というお話がありましたけれども、後ろの写真を先ほど見せていただきました。大変いろんな活動をしておられます。こういった活動を、更に広げていっていただいて、地域の活性化が図られればいいなと思っています。

北海道4団体とおっしゃいましたけれども、更にいろんな団体が情報交換、横のネットワークを活かして地域で活躍していただきたいなと思っています。

終わりに、本日のフォーラムを契機に、関係団体のネットワークが更に拡大をして、地域に根差した活発な活動をお願いいたしまして、ご挨拶と致します。ありがとうございました。

様々な地域の課題を解決して行くシニアネットに
大きな期待



札幌市副市長 小澤 正明

只今、ご紹介をいただきました札幌市副市長の小沢と申します。シニアネットフォーラム 2010 in 北海道、8年ぶりに札幌市で開催されるということでございまして、私ども大変、開催地として選ばれたことを嬉しく思っております。また、今回、道内・外からお越しになりました皆さまを心から歓迎申し上げたいと思います。

シニアネットで活動されている皆さまにおかれましては、お持ちの IT の知識や技術を活かし、充実したシニアライフを実現されるにとどまらず、お住まいの地域の情報化、あるいはまちづくり、社会貢献などの大きな役割を果たしていると同っております。皆さまのご活躍に、この機会に改めて敬意を表したいと思います。

札幌市では現在、5人に1人が65歳以上の高齢者であります。人口推計によりますと、2030年には3人に1人が65歳以上の高齢者となる見込みでございまして、高齢化が進む時代にありまして、札幌市ではシニア世代の皆さまが生きがいを感じながら、より自由に、そして積極的に社会参加出来るよう、地域での活動を支援しているところでございます。

また、行政の力だけではなくて、自分たちのことは自分たちで行う、地域のことは地域で行う、こういった市民の手により、自ら地域の課題を解決していく活動と、このような活動をするシニアネットに、大きな期待を寄せているところでございます。

本日は、この後、中田美知子さんの基調講演、各シニアネットの活動紹介など、充実したプログラムが予定されていると同っております。どうぞ皆さまには本日は多いに交流を深められ、有意義な成果をそれぞれの地域にお持ち帰りいただきますとともに、この機会に札幌の街を観光していただき、良い思い出をあわせてお持ち帰りいただきたいと思います。

結びになりますが、本日のフォーラムが実り多いものとなりますこと、そしてご参加の皆さまのご活躍、ご健康を心からお祈り申しあげまして、簡単ですがご挨拶とさせていただきます。本日はおめでとうございました。

挑む勇氣 ～好奇心はシニアの特効薬～



株式会社 エフエム北海道
取締役 中田 美知子

ご紹介、ありがとうございました。AIR-G'、FM 北海道の中田美知子と申します。8年ぶりの開催ということで、開催の運営をなさっていらっしゃる方々のご苦労、お察し申し上げます。だいたい私も含めて 60 を過ぎたころから、人間は我儘になりますからね（笑）。今日はシニアネットフォーラムということで、「挑む勇氣 ～好奇心はシニアの特効薬～」というテーマでお話をさせていただきます。お手許の資料にはこの講演に至るまで部分を書かせていただきました。

AIR-G'、FM 北海道という放送局は、比較的若い人間が聞いていますのでシニア層としては「中田なんていう人間を俺は初めて見たぞ」と心の中で思っているかもしれませんが、一応、私はこれでも「カリスマ」と呼ばれたパーソナリティーでした（笑）。でも現在は役員で、担務は財務・労務です。社員の就業規則の改定なども担当しています。

「お前は経営管理という仕事に就け」と命じた当時の社長が偉かったんでしょうね、「経営の勉強をするのに一番良い方法は、1年間、52 週、52 人の人にとって経営の話を聞け。それが一番勉強になるから」と言われたんですね。それで実は 52 人にインタビューし、そのうち 50 人を取り上げて「挑む～北の元気企業トップ 50 人の実像～（北海道新聞社刊）」という本を出しました。面白い体験でした。私を突き動かしていたのは「飽くなき異分野への好奇心」でした。新しい分野や異分野に触れると脳への刺激が伝わります。そして特に皆様にお話ししたいことは「今行っていることを社会還元して、ビジネスにしていいただきたい。」ということです。

私、岡部さんのお話を聞いて「あれっ？」と思ったのは、「皆さんの得意分野の IT で」という言葉をおっしゃいました。普通、シニアで「得意分野＝IT」と言えるということは、珍しいことです。私の友人や先輩のシニアは「携帯電話は電話を受けるだけで精いっぱい」という方ほとんどです。得意分野に IT を持っていらっしゃるというのは、素晴らしいことと思います。ですからさらにそれをビジネスに持っていくという方法をお考え下さい。北海道はビジネスの分野で弱いと言われています。ですからこの北海道の弱みをシニアの力で強みに持って行っていただきたいと思っています。

まず 50 人のお名前を御覧頂きます。その中から最初は三笠にある山崎ワイナリー山崎和幸さんです。山崎さんは親子代々米作りをしている農家のご出身で、米をワインに切り替えました。山崎ワイナリーさんのワインを飲んだことがあるという方は、この中でどのぐらいいらっしゃいますでしょうか。6 人くらいですね。じゃあ、ほかの方は山崎ワイナリーという名前自体、今日初めて聞いたぞという方は、どのぐらいいらっしゃるでしょうか。あ、そういう方がほとんどですね。あの、手を挙げ

ていただいて、ありがとうございます。こういうときに逆に睨みつける方がいらっしゃるのですが（笑）、ちょっと困ります。山崎ワイナリーさんは、現在の農業の在り方や国の方針に則って行わなければいけないというところにも疑問を持っているとき、新潟からいらっしゃったワイナリーのオーナーと出会ったそうです。またニュージーランドに農業研修に行った時、自分の作った農作物を自分で売っているニュージーランドの農民の姿を見て「自由なものを感じた」とおっしゃっています。自分が作った産品をこんなに誇らしげに売ることが出来る農民って、何て素晴らしいんだろうとお感じになっていたところで、ある日、新潟からいらしたワイナリーのオーナーが言ったことは3つ。この笠の達布の丘はワイン作りに、葡萄作りに適している。ワインというのは、私は醸造技術というのがかなりの領域を占めると思っていたのですが、実は葡萄作りが8～9割、あとの2～1割が醸造技術と言われているんだそうです。達布が適している理由は1、傾斜地であること。傾斜地なので、水はけが良い。2、雪が多い。つまり雪がやさしく覆い葡萄の木がしばれて、凍りついてしまわない。3、商業地への交通の便が良い。札幌までは国道や高速道路があります。交通の地の利を得ていて、「ここはとても適していると思いますよ」と。話を聞いて山崎さんはまず苗木を買って植えてみよう、バックス、ピノ・ノワールという2品種を植えたのだそうです。ピノ・ノワールという葡萄品種は、北海道では栽培は無理と当時言われていたんですが、山崎さんはニュージーランドに行ったときに、ピノ・ノワールを飲んで大変美味しいと思っていたので「私が一番好きな葡萄なので植えてみたら、それが出来ちゃったんですよ。難しいと聞いたのは、出来たあとに聞きました」という、まあ人間やってみないと分からないものですね。

そこから先、大変だったのが、醸造の免許を取るという作業です。この醸造の免許を取るには、とても高いハードルがあって、年間6000リットル以上を生産しなければいけないとか、この先10年の詳細な事業計画を提出しなければいけないと、いろいろなものがある中、結局、最終的に手伝ってくれたのは行政の方で、「ここはこうした方が良いですよ、ああした方が良いですよ」というアドバイスをくれて、それでようやくこの醸造免許を取得することが出来たということです。

山崎さんは6次産業とおっしゃいます。6次産業とは1次産業が葡萄作りで、2次産業が醸造加工、3次産業が山崎ワイナリーでの直売ということで全部足し算すると「6」になるんです。この6次産業とは「食のクラスター」、「農商工連携」もみな同じものを目指していると思っています。作って、加工して、販売して、これを連携して発信する、この仕組みを作っていくことが、これから北海道の農民が豊かになる一つの方法だろうなと思っています。

ぜひいらしてみてください。達布とカーナビに入力すれば、辿りつけると思っています。小高い丘に素敵な建物があり、ワインをそこで買うことが出来ます。ここの葡萄の収穫はボランティアが行っています。私も1回行って、ブルゴーニュもかくやと思われる葡萄の房を刈り取りました。うちの娘と孫を連れて、「この葡萄はどんなワインに育つんだろう」と楽しみにしていました。1年後に醸造したワインを飲むと格別の味でした。そういう場所が北海道にはあります。「AIR・G」の中田さんから話聞いたのですよ」と言うと、山崎さんの奥様が嬉しい顔をしてくださると思いますので、是非行って下さい。

今日は「異分野に興味を持って下さい、挑戦して下さい」と最初に山崎ワイナリーさんを挙げましたが山崎さんの土地を借りて「TAKIZAWA」というワインが始動しました。ここをご存じの方はまだまだ少ないので、社長の滝沢信夫さんに電話をして、「紹介してもいいですか？」と聞いたら、「ぜひお願いします」と言うのでお話をします。

この方はですね、三笠市達布の土地を借りて、1ヘクタールを開墾しました。2006年ピノ・ノワールなどの苗木を1200本植え、2008年にはピノ60本、これワインですね、ソービニオン・ブラン200本が出来た。2009年のワインを「TAKIZAWA」としてネットでの販売を開始しています。本格

的に売るのは来年からということで、来年以降、これから話題になってくるだろうと思います。ここはいわゆるビオ・ワイン、バイオですね、無農薬で作っています。ですから葡萄の苗木にはいっぱい虫がつくんだそうですね。その虫も一個一個取って葡萄作りをする、ですから少ない本数しか出来ません。私は初めて収穫した1年後のワインを飲みました。発泡系のシュワシュワした感じの、まだ酵母が生きているな、という感じでした。ただ何年か寝かせたあとの味が楽しみでしたね。滝沢信夫さん今年 65 歳なのですが、1971 年に札幌で可否茶館という珈琲店を始めました。1980 年代には、2400 件あった札幌の喫茶店は激減して、既に半分以下になりました。余談ですが東京などは喫茶店は殆ど見かけません。アメリカ資本のチェーン店が増えることで、昔ながらの喫茶店が消えているのですね。そういう時代に滝沢さんは、前々からおっしゃっていたのは、「中田さん、私は 50 歳を過ぎたら、新たな人生の第一歩を始めますよ。中田さんも 50 を過ぎたら、パートナー、それは結婚相手ということではなくて、仕事上のパートナーを新たに見つけ、自分のこれまでやってきたものではない新たな方向に進みなさい」と言っています。滝沢さんのところで修行したお弟子さんはコーヒーの焙煎から始めご自分のコーヒー店を開店していますが、滝沢さん本人はコーヒーからワインに転職し 57 歳でワイン作りの修行をしています。現在は8年が経過して滝沢さんは「ワイナリー特区」を提唱しています。北海道のワインの将来を考えると北海道はまだまだ可能性のある大地だと感じます。

次、皆さんよくご存じの方だと思いますが、クリプトン・フューチャー・メディアの伊藤社長です。先ほど「手を挙げて下さい」と言ったら反応してくださって嬉しかったものですから、もう一回伺います。「初音ミク」をご存じですか？ ああ、数人手を挙げました。さすが IT 系のシニアが多いからですね。通常この位の年齢の方に聞いても、誰一人手を挙げません（笑）。でも、おそらく皆さんの子どもさんの年代の方に聞いたら「初音ミク」を知っています。この会社の社長の伊藤さんは標茶の高校を出て、公務員試験を受けて、合格して北大に行きました。ですから、「伊藤さんは、北大にいらっしゃいましたよね」って言うと、「僕は学生じゃなくて、事務職員で北大に入ったのです」っておっしゃいました。伊藤さんが北大にいらした 1985 年は、コンピュータを実際に使っている方がいっぱいまして、学生たちと一緒に伊藤さんはコンピュータを「触ってみなさい」と勧められました。

音声合成 DTM（デスクトップミュージック）はおわかりですか？ 例えば自分の家にグランドピアノを置くことができる人は少ないですよ。でも音符を入れたら、自分がグランドピアノを演奏している音が出たらいいですよ。それが DTM です。伊藤さん本人はギター小僧でしたが自分の頭の中では上手な演奏を想像しているのにいざ自分が弾いてみるとへたくそだと（笑）。これじゃあ納得できないなと思って、そこで DTM の登場です。そんな発想で取り組み、初めに手がけたのは MEIKO（メイコ）というソフトです。これは仮想楽器ではなく人間の声で、自分の代わりに歌を歌ってくれるソフトです。その業界、1000 本売れば大ヒットというところで、MEIKO は 3000 本売れたそうです。その成功の要因のひとつはパッケージ・デザインでしょうね。例えば「歌を歌ってくれるソフト」というのは、想像しにくいですよ。何なのか分からない、分かってももらえない。例えば「これはラーメンですよ」というと、誰にでも共通する概念がある。だけど、それまでに無い「歌を歌ってくれるソフト」を、どう表現しようかと思ったときに、パッケージに自分でボーカルのマイクを持っている、カラオケみたいに歌っている人の写真を載せようかとか、いろいろ考えているうちに、『そうだ！ これは面倒くさい説明を一切止めよう。この中に MEIKO という女の子がいて、あなたの代わりに歌ってくれますよ、と表現しよう』と女の子のイラストを掲載しました。結果、先ほどお話しした通り 1000 本売れば大ヒットという業界で、3000 本というメガヒットでした。

その後登場したのが「初音ミク」です。MEIKO というソフトは、「歌が上手な人に自分の代わりに歌を歌ってもらう」という発想だったんですね。実は私も話をする業界にいるんですけど、「美声に名アナウンサー無し」って言われるんですね。きれいな声のアナウンサーほど自分自身を磨かないの

で成長しない、大成しないと言われていて、だから私も本当に自分のきれいな声を恨んだ時期がございます（笑）。ここは笑っていただくところですから（笑）。

ちょっと話が横にずれましたけれども、それで **MEIKO** は上手に歌を歌ってくれるソフトだったのですが、初音ミクはアニメのキャラクター声に注目しました。アニメの声優さんは、歌を歌っても、上手というのとは別に魅力的だったり、人を惹きつけたりしますよね。そしたらこれが大ヒットしました。インターネットの世界で初音ミクが全世界に伝播したのです。今やパリでもNYでも初音ミクは人気があります。その時に伊藤さんの発想は、「公序良俗に反しなければ、自由な二次創作に委ねた方が新しい文化や価値観が広がる」とあえて「囲い込み」をしなかったんですね。初音ミクの年齢は16歳、身長は158センチ、体重は42キロ。女性ならこの数字を見て『この野郎！』と思いますよね（笑）。これ以外は、どうぞ自由な発想でやって下さいと言い、広がっていったんですね。この会社が北海道にあることを、私は誇りに思います。伊藤さんの「今日しなければ、明日は世界の誰かがやっている」「北海道そのものがコンテンツ」という言葉が印象に残りました。

続いてご紹介するのは、ここもご存じだと思います。データクラフトという会社です。ここは年商15億の札幌のIT企業です。社長の高橋昭憲さんは「素材辞典」というCD-ROMを作りました。過去に「著作権フリー」というのは、私たち業界人にとって作品の完成度が中途半端で使えないものの代名詞みたいな時代があったのです。高橋さんは、そこに目をつけました。著作権フリー素材に、それなりのグレードを持ったものを **CD-ROM** にして販売したら世に流通するんじゃないかという発想です。データクラフトは年商15億、その半分は素材辞典の売り上げ、その消費地は北海道内がわずか3%、それ以外は東京・関西です。でも時代は変化しましたね。以前テレビで見ましたが主婦が自分の子どもの写真や、風景写真をネットで販売してすごく儲けている話を見ました。完全に誰にでも出来るビジネスになっちゃったのですね。とは言え、データクラフトには著作権・肖像権をクリアしているという信頼性があります。

高橋さんにうかがいました。「ビル・ゲイツがマイクロソフトを立ち上げたのが1975年、1976年にはサッポロバレーがスタートしています。同じ頃に札幌とシリコンバレーでスタートしていながら、なぜ北海道は、片や世界に冠たるマイクロソフトになれたのにサッポロバレーはそこまでは行かなかったんでしょうか、と訪ねたら、彼はこう言いました。「ビル・ゲイツがビジネスを考えていたとき、札幌はラジオ少年だったんでしょうね」と。私はラジオ人間ですので、「今、高橋さんがおっしゃったラジオというのと、私が考えているラジオは概念が違うように思う。どういう意味なんですか？」と聞くと昔、鉱石ラジオを組み立てたことがありますよね？ そうすると、ラジオが出来て、音が聞けて、すごく嬉しいですね。そういうマインドを持った人が、サッポロバレーの担い手になっていた。出来たことに満足してしまっただけで、ビジネスに持っていくことが出来なかったって。それを自嘲的に「ラジオ少年で終わっちゃったね」と友人のIT業界人も言っていました。でもそのあとに高橋さんがおっしゃったのは、「あのころ我々はビル・ゲイツと同じくらいの能力を持っていました。それは自信を持っています。ビジネスに展開するということを考えていなかったけれど、あの頃世界と同じレベルの能力を我々は持っていたのです」。今後はシニアで能力のある方は「俺は年金生活」などと言わず、ぜひその能力をビジネスに生かしていただくと、札幌はもっともっと良くなるだろうと私は思っております。

最後にワイズスタッフをご紹介します。社長は田澤由利さんと言います。彼女はもともと奈良県出身です。会社に入り結婚をし、旦那様の転勤で愛知県を経て北見に引越しをしました。北海道とは何の関わりもなく住み始めののですが子育てを考えても、こんなにすばらしい地域は無いと北見と奈良東京を行き来して暮らしています。テレワークという仕事の形態を「時間と場所にとらわれない働き方」と書きました。こういう勤労形態の一つが注目されていて、国土交通省では全就労人口の20%を

今年度、2010年度、テレワーカーにという目標を掲げています。

テレワークとは何かというと、現実の世界で行っている仕事をパソコン上で行うもので、PCの中にはキャビネットも机も仕事仲間もいる、通常やっている仕事と全く変わりが無い。だから忘年会もするそうで「〇月〇日〇時、集合ね」と連絡し、日本各地、中には世界各地にいる人たちと一緒に、同じ時間にPCの前にビールを持って集まり「乾杯！」ってアスキー文字や何かを入れて忘年会するそうです。だから全く通常の仕事と変わらないと言います。

その代わり、顔を合わずに仕事をするだけにテレワーカーとして契約をする方との面接や教育、コミュニケーションがスムーズに行く工夫には、お金を使っていますよと言っていました。一方でIT業界の下請け業務は、時給計算したら1時間10円なんて話も聞きます。田澤さんはパーツの下請けはしない。全部、パッケージで受けそれぞれの人に見合った仕事量と金額を配分するようにしていると言っていました。会社員というのは言わば仕事を時間で考える側面がありますが、テレワークは時間ではなく完成度で仕事をすることになるのです。どの位時間をかけたのかは問われない。今後、時間と場所にとらわれないという働き方というのは、高齢者、それから子育て世代、例えば子どもが生まれるので、どうしても家庭に入らなければいけない、だけど子育てをしながらでも、1日1時間だけは自分に社会還元をする時間が作れるはずだ、だから仕事をしたい、そういう人たちが安心して働ける社会を作っていきたいと田澤さんは言います。このテレワークなどはシニアの皆さんの活躍の場ではないでしょうか。

今日は「挑む～北の元気企業トップ50人の実像」の中から4人+1人のお話をさせていただきました。多分異分野や、他人の話など何か刺激があっただろうと思うんですね。刺激を受けていただいた中で、是非次には自分自身に時間制限をつけ「いつまでにこれをやろう」と心に誓って頂きたい。ワイン醸造を始めた滝沢信夫さんは50歳過ぎたら第二の人生を踏み出すのだというお話をしていました。滝沢さんが札幌にいたおかげでコーヒーの世界にはたくさんのお弟子さんが誕生しました。でも滝沢さんのワインづくりはまだまだ緒についたばかりです。でも100年後、200年後にどんなワインが育っているのだろうと想像すると、今100年後の未来を考えスタートすることが重要なのだと思います。私が20代の時、「あるヨーロッパの川を浄化するためには100年かかる」と聞いた時は『そんなにかかるのか・・・無理だあ』と思いましたが、自分が50歳を超えた頃になったら、「何だ、100年でやれるんだったら、やりゃあいいじゃないの」って思えるようになりました。

シニアの元気は北海道の活性化には欠かせません。その為にビジネスマインドを持っていただき、自己完結で終わるのではなく、それをビジネスにつなげる姿勢やその背中を子どもさんやお孫さんにも見せてあげていただければと願っています。

好奇心はシニアの特効薬です、好奇心を持って人の話を聞き、好奇心を持って自分の身の回りを見つめる、これがすべての活力の土台になると思います。まさに北海道の元気はシニアから。そういう大地にしていきたいと思っております。ご清聴、誠にありがとうございました。

人の輪・情報の輪を広げよう

NPO 法人 とかしシニアネット
理事長 高橋 克司



【概 略】

とかしシニアネットは、パソコンを通じて人の輪、情報の輪を広げようというキャッチフレーズの基で活動しております。今日は「人の輪」・「情報の輪」ということを関連付けしながら、私どもの活動の内容を報告させて頂きたいと思います。

最初に、私どもの会でどんなことをして運営しているのかということ、簡単に説明させていただきたいと思います。まず沿革ですが、発足は 2003 年 7 月です。2005 年に NPO 法人になりまして、これ

まで私どもの会員になった方々は 510 名を超えていますが、現在は 221 名です。私どもの会員というのは、会費を払っていただいている人が会員という見方をしております。

現在、会員の構成を見ますと、平均年齢は徐々に上がってきまして、発足のときは 60 歳が、今は 68.4 歳になっております。男女の構成比ですが、年々女性の比率が高くなって、今は女性上位の 52% ということでございます。

市役所の方が何かで調べたそうですが、帯広市の人口は 16 万 9000 人なのですが、221 名というのは人口の 0.1% という構成比は、全国のシニアネットの構成比を見たら、凄く高いですねということで、市役所の方では大変喜んで話していました。

組織としては、皆さんのところと同じですが、私のところの特徴は、ここに事業部会というのがあります。この事業部会というのは、発足当時からありまして、ここは何をするのかということ、仕事を見つけて来て、パソコンに関わる技術を身に付けた会員の方に仕事をしてもらい、少しでもお金を稼ぎ、それが会の発展に繋がるのではないかとということで、現在も鋭意努力しています。

お金の方ですけど、入会金が 3000 円です。会費は年間 12,000 円です。これは全国のフォーラムに行きましても、年間 12,000 円をもらっているというシニアネットはほとんど無いです。殆どが 6000 円位ですね。私のところは当初 6000 円でしたが、かなり早くから 12,000 円をいただいています。全国のフォーラムに行きますと、12,000 円で、皆さんから苦情が出ないかということ言われますが、提供しているサービスとの兼ね合いですので、会員の皆さんは理解されていると考えています。

パソコンの使用料とありますけど、ここは講座を受けるとパソコン利用料として 200 円をその場で払っていただくということをやっています。私どもの通常経費即ち一般的な経費 320 万位かかるわけですけど、これを入会金と会費とパソコン使用料で、大体トントンということで健全経営がなされているなと思っています。

先ほど言いました事業部会ですが、当然、事業収入というのがあります。経費をかけて、残ったものを更新積立金としてこれまで積立して来ています。現在、全体でパソコンの方は Windows 7 が 8 台、Vista が 26 台、XP が 14 台、プロジェクター 3 台といった設備を持っておりますけれども、これら全て更新積立金で設備をしてきました。

【情報の輪】

次に情報の輪とはどういう事かということですが、やはり IT はシニアの強力な味方だ、シニアの生活の必需品だということは皆さんご存じだと思いますけれども、こういったことで私どもの情報の輪を広げようというのは、どのように行っているかといいますと、基本はパソコン講座ですね。これは平成 21 年で 346 講座行っています。延べの受講者は 3,188 名ということで、概ね 1 講座 10 人弱と

いう計算になります。346 講座というのは、毎日やっても、日曜祭日を除けば、殆ど毎日何講座を行っている事になります。このような講座を通じて、会員の方のお話を聞きますと、Word だとか Excel とかデジカメとか、楽しい作品が出来た。ブログ、ホームページ、Twitter とか、Skype を使いながら、情報の発信を行っています。それから、ホームページで趣味等の情報の収集が出来た。と大変喜ばれています。また、講座で習得したことによって、仕事に役に立っている、あるいは色々なサークルだとか町内会だとかの業務に役に立っていて大変有り難いですという話も聞いています。皆さんの会と同じようだと思いますけど、毎月やっている講座というのは、パソコン入門だとか、Word 関係、Excel、Power Point だとか、ホームページだとか、画像処理、デジカメ、水彩画と、こういったことをやっておりますけども、随時というのは、色々なソフトを使い、基本的に楽しく、何か作品が出来る事を主眼にして、そのときの状況によって講習部会で企画をしながら行っています。

こういった講座を通じて、学び合い、教え合いということから、シニア情報生活アドバイザーの養成講座行っていて、今まで 65 名の方がアドバイザーに登録をしています。そのうちの 30 名の方が、当会で、あるいは地域のパソコンの倶楽部とかで講師を務めているということでございます。

【人の輪】

次に、「人の輪」ということでお話ししたいと思います。私ども先ほど話した、集まれる場所があります。駅前のビルに 80 坪借りていますが、講座室とサロンという場所が在ります。80 坪も借りれば、都市圏では相当な金額になるわけですけど、かなり安く、金額を言えば皆さんびっくりする位ですけども、その負担はずしと重くなっています。

ここに毎日、管理当番と称しまして担当の者が交代でいます。管理当番は何をやるかということ、場所の管理も勿論ですけども、会員からの会費の徴収とか、パソコンの使用料を毎日受けて、それを管理する、会員の方がパソコンのトラブル或いは一寸した相談に来ますので、その事に対応するのが役割です。いずれにしても、こういった場所があるということで、いつでも相談に来る事が可能だ、相談に来れば、ほとんど即時に解決するということで、皆さんのスキルアップに非常に貢献しているのではないかと考えております。

「人の輪」でもう一つはサークル活動です。現在、私どもで 9 部会があります。これの部会の活発な活動につきましては、後ろにパネルを持ってきましたので、ぜひ休み時間等にご覧いただければ分かるかと思っておりますけれども、延 1400 名の方がこういうサークル活動に参加されていることと思いますと、これはパソコンの講座と両立する大変大切な活動かと思っております。

もう一つは、「活動交流展」と言しまして、「帯広市民活動交流センター」が、藤丸デパートの 8 階ありますが、ここと色々と交流しているわけですけども、ここで活動内容、パソコンの作品を発表しようということを企画しまして、去年と今年と開催しました。この目的は講座で学んだ事の作品を発表する機会を作り、この事で、スキル UP になり、交流が活発になる事を期待した企画です。

この為に、やはり会員の方が積極的に作品を作るということですね。そういった目的意識を持って講座にも受講していただくということです。その作品が出来ますと、そのことによって大変苦労したけれど、喜びがあり、スキルアップに繋がったということを聞いております。

この発表をすることによって、自分と同じ作品を作っているほかの人の作品を「参考になったね」、またそういった中で交流が出来ました、という話を聞いております。

この他に、サークルの紹介とか、あるいはパソコン以外の、趣味の作品とか、動画の作品も発表しました。これと並行して特別講演として、帯広警察署から来て頂き、昨今の振り込み詐欺関連の講演いただいたということで、私どもの会員だけではなくて、大勢の市民の方が来場され、一緒に聞いて頂いたということで、大変効果的だったと思っております。

【ユニークなホームページ活動】

ホームページでユニークな活動をしていますよということをご紹介したいと思います。お帰りになりましたらページを見ていただければ分かるかと思いますが、「何か探し隊が行く」というのがあります。このページの目的は、十勝からの情報の発信ですね。十勝で一寸知られていない所とか、知ってもらいたい事、あるいは会員の方の、国内・海外含めて、旅行記を書いてもらう。そして UP するというを行っています。これは、自分で取材をし、記事を書いて、自分でページに UP する。ここがポイントです。自分でホームページに UP する事を通じて、その方のスキル UP にも繋がっていますし、一つの作品が出来たということで、喜びがありますという声も聞いております。

十勝に以前に住んでいた方がこのページの更新を大変楽しみにしているという話も聞いております。去年、熊本のフォーラムに参加しましたが、会場に来ていました二人の方から、懐かしく見ていますよという声を頂き、大変感激しました。このことで、帯広の、十勝の情報発信に少しは貢献しているのではないかと思います。

【社会貢献活動】

私どもの社会貢献活動についてお話しします。当初から帯広市、帯広市商工会議所と協働、或いは連携をするということを進めてきております。パソコンの無料体験講座というのは、社会貢献活動の一環として、帯広市の広報で募集をして、4日間の講座を実施しています。ここ5年間で延べ550人という実績が出てきています。帯広市民交流活動センターで2日間、当会で2日間開催するパターンです。これは帯広市市民活動交流センターの利用者を増やす為の協力と当会の講習会場に来て貰う事で活動の内容を知って貰う為です。

帯広市民活動交流センターとの関わりですが、ここの運営協議会にも参画しておりますし、このホームページは当会で作らせて貰って、今も管理しています。それからパソコンの相談日を月2回開催してまして、一般市民の方のパソコンのトラブルだとか、色々な問題に対しての相談を受けています。

次に、町内会のパソコン講座、障害者福祉協会のパソコン講座、今年初めて、ろうあ者のパソコン講座を、市から受託を受けて、当会の会場で、実施しています。

最後になりますが、帯広市・商工会議所との連携を重視しておりまして、私どもは駅前にある関係から、街中商店街との関係もありますので、イベント等には積極的に参画しています。例えば、商工会議所主催の「花一杯運動」の花壇の管理を、ボランティアでやるとか、あるいは中心活性化事業協議会、そういうところに参画をしながら、連携を密にしている所です。

今後皆さんとの情報交換・交流を通じて私どもの発展にも繋げて行きたいと考えています。

ご清聴有難うございました。

多種多彩なクラブ活動で楽しく

NPO 法人 札幌シニアネット

副理事長 武田 政弘



ご紹介いただきました NPO 法人札幌シニアネットの武田と言います。どうぞ宜しくお願いいたします。これから札幌シニアネットのご案内をしたいと思います。札幌シニアネットの基本理念ということで、学び合い、支え合い、助け合いということで、この会は 2001 年に設立しまして、2002 年に NPO 法人になっております。途中、活動拠点として SSN サロン、所在地が南 8 条西 2 丁目、市民活動スペース、アウ・クル、実は此处は旧豊水小学校の跡地。ここの 3 階で活動しております。

【概 要】

現在、会員数は 542 名、男子が 251 名、女子が 291 名。つい昨年までは男子が多かったのですが、今年に入って、がぜん女子の入会が増えまして、女性の方がかなり強くなっております。平均年齢 68.8 歳ということで、だいたい毎年 0.5 歳くらいずつアップしていく。設立のころから見ると、かなり年齢層が上がっております。これも男子の方が 71 歳で、女子が 67 歳ということで、ちょっと差がついております。

この会の特徴としまして、全会員が参加型の団体。すべてが会員のボランティアで運営されております。その中の会の 4 つの大きな柱としまして、会全体の連絡その他はメーリングリストで伝達されます。我々の会は 542 名ですけど、友好の会、小樽とか羊蹄・後志という会もありますので、その会員たちを含めまして、友好会員として現在 700 名以上の方に配信されております。ホームページとしては私どもがここにあるアドレスで UP してありますけれども、そのほかに、どうしてもネットの中ですと顔が見えませんが、出来るだけ顔の見える機会を増やそうということで、先ほど述べましたサロンでの顔の見える活動ということで、毎週 2 回、オープンサロン、それから数回のパソコン学習会、月 1 回のフォーラム、それから随時、今は週に 3 日ほどですか、工房活動というのをサロンで開催しております。

そのほかに会員の活動として、年 1 度の文化祭、作品展示とかステージのパフォーマンスとか出店とか、楽しんでおります。それとお互いが集まってる会員交流会を年に 2 回、そのほかに個々のクラブ活動としましていろいろありますけれども、現在すでに 22 のクラブがあります。そのほかに情報通信月間の協賛行事、これは年 1 回ですけど、総務省の管轄で、ここへの協賛もしております。そのほかに 4 番目に地域貢献活動ということで、市内の公共団体に対するパソコンの講座、それから他の NPO 法人のパソコン講座の支援とか、そのほかにパソコン絡みではなくて老人ホームほかへの芸能チームとしての慰問活動とか、こういうこともしております。

【情報活動】

この中でももう少し詳しく述べますと、一番のネットの関係ですと、現在、メーリングリスト、主に全員に配信しているのは一つですけど、その他に使い道を分けて 20 ほどのメーリングリストを運用して全員、会員の中で連絡を取っている。重要なことはホームページにすべて UP してあるのですが、ホームページは二つに分かれておりまして、一般のサイト、これは皆さんに対するサイト、シニアネットはこんなことをしていますよということのサイトが開きます。この中で会員トップページという、会員に対するトップページがここからリンクしておりまして、こちらが開きます。

この中で何が今何をしているのか、どんなことをやっているのか詳しく述べていますので、ここを開いてもらおうと、私どもの会の行事がだいたい見えると思います。

【サロン活動】

そのほかにサロンでの活動の中で、先ほど言いましたオープンサロン、これは週に2回ですが、火曜日は自由開放日ということで、一般の方の参加も認めております。水曜日も一般開放ですが、特にこの日は午後から相談会を開いております。主としてパソコン関連の相談会ですね、ここには常に4名の相談員を配置させていますので、だいたい相談には対応できるような形で進めております。

パソコンの学習会としましては、サロンでパソコンを持ち込んで、自分のパソコンで勉強するというのと、サロンにある備え付けのパソコン、今20台、学習会用に設置しています。一般貸出が8台ありますから、そのほかに学習会用を使ってやる講座、もう一つはサロンではないのですが、東札幌の産業振興センターを借りまして、そちらで月に4回ほど講座を開いております。今この画像がそのようなのですが、これが東札幌の場合です。

フォーラムとして月1回やっていると先ほど言いましたけれども、毎月最終金曜日の午後開催します。会員の体験談とか、いろいろな特技等の講演、それから会員以外からの種々の発表・講演等で、このテーマは毎月変わります。皆さんからの応募に応じてやって、これが今月のテーマで、募集サイトですね。一番興味のあるところで遺産相続に関してということで今月はやりますけれども、このほかにもいろいろ毎月やっております、医療関係、ガン関係とかですね、音楽、中にはプロの歌手のコンサートをやるとか、来月はトレンドマイクロさんのセキュリティに関するパソコンの講習会、12月になりますと、クリスマス、ちょうど最終金曜日がイブなものですから、これはもう会員全員で楽しんでクリスマス・イブをやろうと。1月になると食育指導ということで、いろいろとテーマを変えてやっています。

そのほかにサロンで毎週やっております工房活動。二つありまして、AD 工房、アナログ素材のデジタル変換ですね。ハミリだとかビデオを、DVD に焼くとか、いろんなこと。主に会員向けを主にしております。ただ、依頼があれば会員以外のお仕事も受注しております。

それから PC 工房、これはパソコンの、どちらかというとハードのトラブル対応ということ、尚且つ、バージョンアップから製作の指導までもするというので、工房活動も活発にやっております。

【交流会活動】

活発な会員活動の中では、年1回の文化祭、実はつい先日、終わりました。作品展示だとかステージ、ここにありますが、これは全員、会員がやっておりますけれども、フラのステージだとか、弁当から屋台では駄菓子の販売とか、これは邦楽の演奏、会員の中には大道芸のプロもおりますし、マジックのプロもおります。皆さん、いろんな特技がありますので、会員を募りますと、結構楽しい文化祭が開催されております。文化祭が過ぎますと、交流会ということで、皆さん顔を合わせて、春・秋、2回。春は総会を終わった後に、今年の場合はランチ会ということで、これはアルコール抜き、お昼間の交流会。秋は文化祭を終わってから、夜、夕方にお酒を入れての、いまここにありますがような交流会をやっています。

そのほかにも大通りのビアガーデンとか、秋の芋煮会、実はこれを開催しているのはクラブが主催してやっているのですね。こういう顔を合わせての楽しい会もやっております。最大のうちの会の特徴は、クラブ活動がたくさんある。22のクラブ。アウトドア関係、登山クラブ、歩こう会、パークゴルフ、ゴルフクラブ、愛妻クラブ、映像関係、デジカメ。デジカメクラブは、この会の中で一番人数の多いクラブですね。今、150名以上いますね。最近、一番人気なのがムービークラブ、ここがかなり混み合っております。それから画像作りとか、創造画クラブ、創造画クラブというのは、ちょっと名前では分かりませんが、コンピュータグラフィックの製作およびコンピュータのアニメーションを作るというようなことで、ここは教える方ではなくて、作品を持ち寄っての批評会を主にしております。水彩画の方は実際に日曜日に集まって水彩画を画いているというクラブです。それからホ

ームページクラブ。これは学習会の方では、あまりホームページの講座を数多くやっていません。基礎的なことのみをやっています。クラブの方で段階を分けてどんどんホームページの指導をして、たぶんホームページの UP している方が会員の中に 150 名ほどいると思います。

それと、先ほど出てきた PC 工房がありますけれども、自作パソコンクラブ、パソコンを自分で作ろうというクラブもあります。食文化の探求ということで、料理愛好会、めんこいクラブ。めんこいクラブはおそばを打って楽しんでいますけど、例えば文化祭では作ったものを販売する、それから料理愛好会、さっき出ていましたけど、ここは会員 2 名だけで運営していて、つど皆さんに呼びかけて、集まっているいろんな行事をするというようなことをやっています。心を豊かにということで、源氏物語の会、絵本を楽しむ会、カラオケのクラブ、オペラ観賞会、邦楽の会。源氏物語の会をやっている方は、郷原さんという札幌市民講座の講師をなさっている方、うちの会には市民講座の講師の方が何名かおられますので、その中の一人が源氏物語をかみ砕いて、いろいろなエピソードを入れて説明する会です。これは参加者が多くて、毎回 120～130 名集まるので、私どものサロンでは収容しきれないということで、毎月教育文化会館の部屋を借りて、そこで開催しています。それから先ほどありました邦楽の会とか、ゲームを楽しむ麻雀、将棋の会とかいうものもあります。

【地域貢献活動】

4 番目に、地域貢献活動。公共団体とか、そういうパソコン講座の支援とかサポートということでやっています。ずっとやってきたのが、白石区の寿大学の講座を代行してしまして、今年たまたま担当者が代わったということで、寿大学は中止になりましたが。来年また変わると思います。旭山公園通地区センターの講習会は、今年数回やりましたけど、このあと 11 月と 12 月にも年賀状作りということで講習をやる予定です。そのほかの講習もいろいろやっていますが、私どもが全部できるわけではなく、おおもとは札幌市で考えるいろいろな地域のパソコン講座、そこへ対しての支援体制を作っていこうかなということで、どちらかという自分たちでやる人数は知れています。190 万都市で、毎回どのくらいの人数が参加出来るのかというと、まず僅かな数だと思いますので、札幌市で決めたことがあれば、それと取り組んで一緒に大きな輪の中に入っていきたいなという心づもりでおります。

そのほかに地域貢献としては、老人ホームへの慰問。昨年、こういう形で慰問する、それから地域の町内会の清掃活動、これは鴨々川の清掃ですね。会員の中に、市内の彫刻の清掃とかをやっている方もいますし、いろいろなことに携わっております。

全体の我々の組織としてはこういう形で進んでおります。ちょっと短い時間でしたから、すべてはお伝えできませんけれども、このような形でございます。ご清聴ありがとうございます。

楽しみながらパソコンで物作り

新陽パソコン倶楽部

顧問 横田 昌樹



新陽パソコン倶楽部顧問の横田です。パワーポイント操作に不備があり、資料なしでの新陽紹介となります事、お詫び申し上げます。ところで、私が、シニア情報生活アドバイザー養成講座に関わったきっかけは、「声がかかった」という単純なものでありました。当時は、まだ60歳前で現役でありましたが、「シニアの人に、シニアの人がパソコンを教えてはどうか？」という通産省の方の発案で、シニア情報生活アドバイザー養成講座が生まれ、その最初の扉を開くにあたり、北海道を見渡したところ横田がいたという経緯であります。現在、室蘭シニアネットで活躍されている秋山さんや、この度の

北海道フォーラムにおいて主軸を務められたとかちシニアネットの高橋さん。また、本日はお見えになっていらっしゃるが札幌シニアネットを立ち上げた高木さん。その高木さんの後を受け、現在理事長としてご活躍の神野さんなど、その足跡を語るにふさわしい皆さんとこうして一同に会する事ができました事を喜ばしく受け止めています。北海道に点在するシニアネットが繋がる・輪になる。その事を養成講座第1期生として、大変喜ばしく受け止めています。

【物づくり】

本題であります新陽パソコン倶楽部の紹介をさせて頂く事にいたします。新陽は、2004年7月情報格差是正の為に活動するNPO法人E・エルダーより『リユースパソコン寄贈制度』の適用を受け、札幌市北区新陽町内会の一隅に誕生しました。告知や募集など、倶楽部としての基礎作りは、メールリングリストならぬ町内会の回覧板によってでした。以来、ロコミを中心に仲間が集うようになり現在に至っています。活動の中心は、月4回の学習会です。メンバーがパソコンに親しめる事を念頭におき、基本操作から応用までという従来のPC教室からやや逸脱し、パソコン操作からうまれる「物作り」も楽しんでいます。中でもワードの図形描画機能を利用して描いたイラストを、平面から立体へと変化させるイラデコ作品作りや、ネットへの編み込み図案を考えるなど、先程中田さんがおっしゃっていたように、パソコン操作からビ・ビ・ビと生まれる好奇心を特効薬に、「ITシニア・お気に召すまま症候群」にぞっこんの新陽です。

【地域コミュニケーション活動】

このほか、新陽の活動として、シニア情報生活アドバイザー養成講座を中心に据えたシニアIT推進活動。地域の保育園や特養の皆さんとの触れ合いを中心とした地域コミュニケーション活動。北星大学フェアトレードのお手伝いや、地域FMのシニア番組作りなどを中心とした社会貢献活動など、3つの柱があります。組織をもたない任意の団体ではありますが、現在のメンバー数は50名弱。構成としては、60代を中心に、40代前半から70代後半まで。私のように心優しき男性陣は少々さみしく2割弱ですが、悠々人生をモットーに、シニア街道、仲良く・真面目に・緩やかに、疾走中の新陽。笑顔絶える暇なしです。

Windows Live で広がる楽しいクラウドの世界



マイクロソフト株式会社 技術統括室
マネージャー 大島 友子

マイクロソフトの大島と申します。丁度この秋に Windows Live というマイクロソフトのサービスが色々と新しくなりましたので、「Windows Live で広がる楽しいクラウドの世界」という事でお話をさせて頂きたいと思います。今、クラウドというものをコマーシャル等でも言われていますので、その話とも絡みますので、ぜひ Windows Live のご紹介と、クラウド全般ということでお話をさせて頂きたいと思います。

【クラウド】

先程からクラウドというふうに言っていますが、最近 IT 業界ではクラウドというのが流行なのです。クラウドって何かと言うと、訳すと雲っていうふうな意味になります。空にある雲です。これまでは皆さん自身が個人でパソコンを楽しむ場合も、会社でパソコンを使って業務をする場合も、ハードウェアだったりとか、そのメンテナンスだったりとかを、用意したり保守したりっていうのをしてきたけれども、今後は「雲の向こうの世界」まあインターネットの世界に、そういったようなことも全部任せて、何か作ったり使ったりすることだけ手元でやろうよっていうような事に、どんどん流れが今変わってきています。そういった流れの事をクラウドコンピューティングっていうふうに言っています。

でも実は、マイクロソフトもクラウドコンピューティング向けのソフトとかサービスっていうのを出しているのですが、今日お話させて頂くのは、個人の皆さんにも実はこのクラウドっていう流れが来ていますよというお話になります。

【Windows Live】

実際にどういうものかって言いますと、それがマイクロソフトでは Windows Live というものになるのです。Windows Live というのは、大きく二つに分かれています。一つはサービスなのですね。ウェブのサービスです。これはまさに、ウェブ上にあるマイクロソフトのもの、インターネット上にあるものですね、それをサービスとしてご提供するので、使って下さいっていうようなものになります。

もう一つは、クライアントソフトウェアということで、アプリケーションソフトなのです。インターネット上から取って頂くものではありませんが、皆さんのパソコンの中に普通の Excel とか Word と同じようにインストールして使って頂くものです。Windows Live はこのようにパソコンに入れるソフトですね、この二種類あるのだと思って頂くと、Live っていうもののイメージがし易いのかなと思います。

【サービスの紹介】

サービスの方から代表的なものだけご紹介をしたいと思います。まず一つ目は Hotmail ですね。

Hotmail のアカウント持っている方、沢山いらっしゃるかと思いますけど、@hotmail.com とか hotmail.co.jp とか、live.co.jp なんていうのも取れるのですけれども、無料のメールのサービスと思って頂ければと思います。

二つ目は、Hotmail といってもメールだけでなく、カレンダーの機能もあるのですね。

三つ目、これがイチオシといいますか、Windows Live Sky Drive です。25 ギガまで無料で使っているだけのオンラインストレージサービスです。

それでは、どんなふうに使えるのかといいますと、ご紹介させて頂きたいのは、まず Hotmail のサービスの一つで、この Sky Drive と組み合わせたフォトメール、Hotmail の写真のメールの機能というがあるので、これをまずご紹介させて頂きたいと思います。

どういう特徴があるのかといいますと、実は合計 10 ギガ分の写真を一通のメールで送れるサービスなのです。でも、勿論、実は種明かしがありまして、まずその前に、相手には一通のメールがシンプルな HTML のメールが届きます。これ、送り主は、Hotmail でないといけないのですけれども、受け取る方はですね Gmail でも Yahoo でも、あと普通の nifty さんとかのプロバイダのメールでも大丈夫なのです。これどういうふうな種明かしになっているかって言いますと、自動的に写真が Sky Drive のほうに、インターネット上に保存されるのです。相手に自動的にアクセス権が与えられます。メールを送った相手に自動的にアクセス権が与えられて、皆さんのところには相手先にはメールの、実は 10 ギガのメールがくる訳ではなくて、小さくサマリーになったサイズの小さいメールが一つだけ届きます。実は、インターネット上には 10 ギガ分の写真が、高解像度の写真が入って、それを直接見に行けますよというようなメールになっているのです。

【Windows Live サービス】

サービスの方をご紹介したいのが、Windows Live、フレームイットというふうに書いてあります。フレームイット。やはり写真関連なのですが、ソニーさんとか、あとバッファローさんとか、いろいろなメーカーさんから出ていますよね。写真立てなのですが、デジタル写真立てということで、USB を挿しますとそこの中にある写真を自動的にスライドショーで見せてくれるようなのがいま売られていると思うのですが、この Windows Live のサービスと組み合わせると、離れたところにあるデジタル写真立ての写真をどんどん自動的に変えてくれるっていうサービスなのです。

例えば、おばあちゃんのところの居間に、このデジタル写真立てを置いておいて、離れたところに住む息子さんが、お孫さんの運動会の写真なんかを Sky Drive に UP するわけですね。そうすると、おばあちゃんの所に行かなくてもおばあちゃんの所にある居間の写真たてが、どんどん新しいものに変わっていく。そんなふうにインターネットのサービスと連携しているデジタル写真立てというものがあります。これがフレームイットってものなのですが、デジタル写真立てが Windows Live のサービスに対応している機器ですと、このようなサービスを使えます。

【Windows Live ソフト】

先程、Windows Live には、サービスとソフトの二種類ありますって言いましたが、ソフトのほうご紹介させて頂きたいと思います。このソフトですが、今回この秋に Windows Live エssenシャル 2011 というバージョンになって、丁度新しくなったばかりです。ソフトの中では例えば、Windows Live メールっていうメールをするソフト、メッセージとか、その他にはフォトギャラリーとかムービーメーカーとかあります。

フォトギャラリーっていうのは、写真の整理とか編集ができるソフトです。凄くこれ、機能は今回アップしています。あと、ムービーメーカーっていうのは以前 XP とか Vista にも元々ついているものがありましたが、今回それがバージョンアップして Windows Live の仲間としてダウンロード出来るようになっています。

全部サービス無料のものなのです。Windows Live の Live っていうふうに付くと、マイクロソフトのサービスは無料だっているように思ってもらえばいいかと思うのですが、こちらのフォトギャラリーとかムービーメーカーとかも無料のサービスになっています。

あと、皆さんのようにパソコンを積極的に使われている方にはいいと思うのですが、Windows Live メッシュっていうサービスが今回、ソフトができました。どういうソフトかって言いますと、二つのことが大きく分けて出来るようになっていきます。何かというと、一つは、皆さんもパソコン何台も持っている方、多いかと思います。例えば、お家にデスクトップがあって、持ち歩きようにノート持っているとかっていう方いらっしゃるかと思うのですが、そういう二台以上のパソコンを持っているときに、ハードディスクの中、特にマイドキュメントですとか、あとインターネット Explorer のお気に入りだとか、設定をしておくとも自動的に同期してくれる。中身が一方で新しくなったらもう一方のパソコンも自動的に新しくしてくれる。そんなようなことができるソフトになります。

もう一つは、リモートデスクトップっていう機能がありまして、離れたところからでも皆さんがご自宅にあるパソコンのハードディスクの中のファイルを取ることが出来るっていうようなサービスなのです。これももちろん事前に設定が必要です。

【フォトギャラリー】

まずフォトギャラリーの方からですが、今回フォトギャラリーの方でしている整理の方法って、まずこちら見ていただけるように、左のほうには一応フォルダで分けています。ねこだとかファミリー、ペットとか、あと旅行みたいな形でフォルダを分けて、そこに写真はそれぞれ入れてはいるのですが、それといま全然関係なく日付で並んでいるのがお分かりいただけると思います。デジタルカメラの写真は、元々ちゃんとカメラの写真のスケジュール時間が合っていないとダメですが、もう撮ったときに中身に情報として、これって何月何日に何時何分に撮った写真であるというちゃんと記録が中にされているのです。従いまして、それを自動的に読み取って日付順に並び替えたりする事が出来るようになります。ですので、わざわざ、ファイル名なんかを変えたりしなくてもいいのです。今こうやって日付順に並んでいるのでこのようになります。撮影日、今何時何分と言いましたけれども、もちろん撮影日ごとに変えるなんていうことも出来るように、並び替えるなんていうのも出来るようになっていきます。

あと評価ですね。このフォトギャラリーは写真にそれぞれ星を付けられるのです。まあ、自己評価になると思いますけれども。この写真は上手く撮れたから五つ星とか、そういうふうに写真に点数を付けられるようになっていきます。この評価っていうものでも、いま日付で並び替えをしていますけど、評価っていうものでも並び替えが出来ますので、そうすると星五つ付けた写真、星四つ付けた写真ということで、こうやって並び替えができるのです。

先ほど、顔というふうに言いましたが、こういうふうにかくさん写真があるときに、これらはダイキ君ですか、これらはママさんですかっていうように、「はい、そうだよ」っていうふうに言っていくと、どんどん顔認識機能の精度も上がるので、どんどんタグがつけやすくなるのです。いまママさん、この三枚確かに同じ方だと思えるのですが、やはり顔認識機能が間違っていて、「いやいや、この人違うよ」っていうものが出ちゃったりもするのです。でもそういうときは、沢山やっていると、だんだん認識率も高くなるので、この人はそう、この人は違うっていうことをここで作業をしていただくと精度があがります。

編集機能についてお話しさせて頂きたいと思います。こちらの写真に、わざとらしくなっていますが、唇のところにご飯粒だと思っただけかと思うのですが、白いものが付いているのですが、こういったのを取りたい時にフォトギャラリーでも簡単に取れるようになりまして、この修正っていうものをクリックするだけです。そうすると、こう十字にマウスの形が出たので、この取りたい所を、

白いところをこう囲むのですね。そうすると、小さいですけど無くなりましたよね。あの、周りの肌色を見て白い部分を違うものだと思ってこう綺麗に消しちゃうって感じです。このように簡単に修正する事がこのフォトギャラリーで出来るようになりました。

次に、パノラマ写真です。これは写真にしたいものを全部選んで、パノラマ写真をクリックをするだけなのです。パノラマ写真の撮り方のポイントなのですが、フォトギャラリーの場合は少しずつ重ねて写真を撮るのです。すごく大きな一枚の写真を撮るのに、少しずつ重ねて、こう写真を撮っていただきます。そうすると、その重なっている所を、「あ、これって同じ部分だな」というふうにフォトギャラリーで自動的に判断して、一つの大きな写真にしてくれるって感じになります。

次に、合成写真の機能、例えば今東京だと、今スカイツリーがどんどんこう高くなっているというのが話題で、それを一生懸命一枚の写真に収めようとしている人が沢山いると思うのですが、そういうのも無理せず、一寸ずつこうやって写真に収めていただくと、このフォトギャラリーで一つに繋げていただくだけで完成です。

では、もう一つ合成写真なのですが、二枚の写真の良いとこ取りをする合成写真機能っていうのが今度出来たのです。良いとこ取りの機能です。

【ムービーメーカー】

あとはやはり、ムービーに写真するっていうこととかもあると思うので、例えばこの写真と、この写真と、この写真と、みんなで写っているこの写真なんていうふうに、フォトギャラリーのほうで写真を選んでいただいて、作成でムービーっていうのがありますので、もうこれをクリックするだけなのです。そうすると今度は自動的にムービーメーカーというのが立ち上がります。先ほどもいいましたが、ムービーメーカーですごく今回変わったのが、このオートムービーのテーマっていうのです。今までもオートムービーの機能ってあったのですが、こんなふうに種類がたくさんできたのが初めてです。オートムービーとは、自動的に写真の編集だとか、写真と写真の間の切り替えですね。そういうのも自動的にしてくれる機能です。

まず、オートムービーの機能でムービーを作っていただいて、その後にもっと細かいところを自分で直す、ここ気に入らないなという所を自分で直す。こんなふうにムービー作っていただけるようになっています。今、デジカメって結構ムービーが撮れますね。それでムービーを撮って、ムービーとムービーを足したりだとか、ムービー撮って写真を足して、そのあとにまたムービー入れたりだとか、そういったムービーと写真の組み合わせっていうのも、このムービーメーカーで出来るようになっていきます。こんなふうに作った後は、YouTube にアップして頂いたり、先ほどもご紹介した Sky Drive にアップして皆に見せたりすることが出来るようになっていきます。YouTube で、全世界に向けて発信してもいいと思いますし、Sky Drive ですと全員に見せるっていうことも出来るのです。誰でもアクセスするってことも出来ますし、このお友達だけに見せるとか、このグループだけに見せるとかそういったことも Sky Drive だとできるので、一緒に旅行に行った皆さんでムービー作って、その中で共有するなんていうのもこちらで出来るようになっていきます。

【メッシュ】

先程、お話ししましたメッシュですね、これもご紹介させて頂きたいと思います。先ほどもお話ししましたように、できることは大きく二つあります。複数のパソコンの間のファイルだとかお気に入りを同期させることが出来ます。パソコンとパソコンの間だけじゃなくって、その情報を Sky Drive に置いておいて Sky Drive に元のものを置いておいて、インターネットに繋がたらいつでも直ぐに自分のノートパソコンにダウンロードして同じものがある、とかっていうふうにも出来ます。

もう一つは、リモートデスクトップ機能ということで、設定をしておくと外出先で、「あのファイル、シニアネットで使うあのテキストを昨日作ったのに、デスクトップのパソコンに入れてきちゃったよ」

ということとかあるかもしれないですけども、そういうときに、もともと設定をしておくと、ノートパソコンからお家にあるデスクトップのハードディスクの中を見て取ることができるっていうような機能になっています。

あと、リモートデスクトップの機能ですね、いまリモート接続は禁止されていますっていうようになっているのですが、まあ普通そうですね、勝手にいろんなところから見られないようになっていると思うんですけども、これを許可するっていうふうにして、このパソコンからだったら許可するっていうふうにすると、そうやって外からでもお家にあるパソコンの中身が見ることが出来るようなソフトになっています。

【Bing】

検索サービスの **Bing** というのがマイクロソフトで、いまスタートしていますので、こちらも簡単にお話をさせていただきたいと思います。

検索って **Google** だとか **Yahoo** だとかっていうのと、まあ同じっていうように思っただけだと思います。**Bing** って多分聞いたこと皆さんほとんどないと思います。今ですね、検索サービス **Bing** を日本で使われている数は、凄く少ないですけども、でもマイクロソフト **Bing** っていう検索サービスを、**Yahoo** さんとか **Google** さんに対抗して始めたのですね。始めたばかりです。

例えば **Bing** の特徴としまして、いま石川というふうに打とうとしたのですが、そうするともうこういうふうに、石川遼じゃないですか石川県じゃないですかっていうふうに、結果が出てくるのですね。じゃあ、石川遼ということでクリックしてみたいと思います。そうすると、大きな特徴としては、ここタブになっています。**Web** とか画像とか動画とかニュースっていうの、こういうふうにタブで表示がされているのですね。あともう一つ、カテゴリーっていうのがありまして、よく検索されているものを、例えば石川遼ブログっていうふうに入力をしなくても、石川遼のブログじゃない？ 知りたいのはプロフィールじゃない？ いうように、こういうふうにカテゴリーとキーワードで分けても表示をしてくれるっていうのが大きな特徴です。

では、こちらで纏めに入らせていただきたいと思います。今日ご紹介させていただいた **Windows Live** ですね、先ほども見ていただきました **MSN** のトップページなどから **Live ID** っていうのも取って頂ければと思います。もう **hotmail.com** とか何とか **live.jp** とかってメールアドレスを持っている方は、もうそれがそのまま **Live ID** なので、もうすぐ使って頂く事が出来ます。先程、見て頂いたフォトギャラリーだとかムービーっていうのは、纏めて、まるごとダウンロードっていうボタンがありますので、そこからダウンロードしてインストールして頂ければと思います。

こちらで、終了させていただきたいと思いますが、ぜひ、クラウドというふういろんなところで聞くとしますので、ぜひ個人でもクラウドっていうのだよ、**Windows Live** っていうのがあってねっていうふうに、ぜひ皆さんからお友だちですとかにご紹介して頂ければと思います。本日は有難うございました。

PowerPoint でアニメ & サウンドのコラボ

NPO 法人 とがちシニアネット
前川 勲幸



とがちシニアネットの前川です。よろしくお願いします。タイトルは GIF アニメとサウンドのコラボということになっておりますけれども、PowerPoint は通常プレゼンテーションをする際に使いますが、こういったプレゼンをする他に、こういった使い道もありますよというところを紹介したいと思います。GIF アニメというのは、例えばこういうものとか、キャラクターがもうすでに動きがついているもの、あるいは背景の絵とかに動きが付いているもの、こういうものを GIF アニメといいます。

サウンドにつきましては、ここでは音楽のことをいいます。特に楽曲をいいます。講習では歌謡曲を主に使って作品作りをしています。

この GIF アニメというのは、Web サイトにたくさん公開されていまして、その中で気に入ったものがあればダウンロードをして自分で持つ、そこから使い込んでいくということになります。音楽については、これを予め CD とかからパソコンに入れ込んで使うということになります。ほかにもいろんな機能を使うのですが、とくにこの GIF アニメとサウンドが、作品の一番の要になるということなので、タイトルに入れました。

講習では PowerPoint の機能を使いまして、GIF アニメや壁紙や背景等を用いて、使用する音楽のイメージをスライドに描き、その音楽を挿入するのですが、この使用する音楽のイメージをというところがポイントで、だいたい作品を作るときには、この音楽、この歌を使おうと決め込んで、画面にそのイメージを作っていくということになります。スライドで作上げた絵を、こんどは PowerPoint の最も優れた機能であるアニメーションの設定という機能を使いまして、スライドに描いた画像の各素材、例えば GIF アニメとか、壁紙とか、一つ一つにアニメーションをつけまして、音楽に見合うように、流れが音楽と合うように画面を作っていくということですね。口で説明しても、なかなか分かりにくいと思いますので、後ほど作品を実際に見てもらいますけれども、そういった音楽とアニメとかと合わせて一つの曲の流れの中に入れて行くというのが作品なのですね。

特にアニメーションの設定というのは、4つのパターンがありまして、一つ目はこういうスライドに登場させるというのが一つ、二つ目は、強調するというもので、これはいまグーッと大きく見せたりしていますけれども、強調するという二つ目。それから三つ目は移動させる。そして消えて行く。この4つのパターンがありまして、これがそれぞれに何十種類かの種類があるので、この種類をうまく使って、画面作りをしていくということになります。

これから作品を見てもらいたいと思います。今日は5つの作品を持ってきました。これはいずれも去年から今年にかけて講習会で使った、そのものの作品です。こういう作品を講習会でみんなと一緒に作っているのを見たいところを見てくださいと思います。5作品は、それぞれに特徴があると思いますか、それぞれにパターンが違いますので、違いも見つけていただければ結構だなと思います。それでは紹介します。

▼作品1

この作品は、皆さんの資料で解説していますので、これを見ながら、興味のある方、ぜひ挑戦してみてください。

この作品は、最初に踊っている GIF アニメに出会いまして、これで何か作品が出来ないかなという

ことで、いろいろと音楽を探して、これに見合う音楽ということで、いま流れているカイマラヒラという音楽に落ち着いたのですけれども、その辺の音楽探しというのも結構大変なのですが、うまくリズムと動きがマッチすれば、すごく楽しいなと思います。



▼作品2

これはさっきと同じようなパターンなのですが、背景がピッと変わるところが実は難しい。これも先ほどと同じで、リズムと音楽が合っていないと何も面白くない作品なのですが、たまたまプレスリーの「恋にしばれて」というのが動きにぴったりと合うなということですね。ほかにはポール・アンのアダムとイブ、それからシンデレラ、こういう曲もこの動きにぴたりと合いますね。

▼作品3

この作品は、アニメーションの設定をフルに使っています。登場させたり、動かしたり、ひっこめたりというのをフルに使って作った作品ですね。

この写真はマルベル堂のブロマイドです。サイトにあるので、懐かしくて使ってみました。

▼作品4

この作品は、カラオケっぽく作っています。音楽を聴きながら、自分で画面を見て歌ってみるということも出来る作品です。ちなみに音楽は、全部スライドの中に入れ込んであります。だから自動的に出て来ます。

この作品で一番苦労したのは、音楽と文字の出具合です。音楽にだいたい合うようにやるには、ちょっとした技術がいるのですよね。ここが一番苦労します。歌には間奏というものもありますので、その間奏の間を取る取り方もあります。実際には2番目の文句をおくらせるとか、そういうことも出来るのですが、分かりやすく講習では「・」をつけて間奏を。

▼作品5

これも前回と同じようなのですが、先ほどと違うのは、歌が入るのです。フランク永井の実際の歌です。従って、文字の出し方とずれるとはっきりと分かっちゃうので、一番難しい。いま幕がちょうど下りているのが皆さんお分かりになりましたでしょうか。幕が下りて、景色がはっきりとずんずん見えてきた、そういう仕掛けをしています。PowerPoint はカラオケを作るものじゃないので、こつとしては多少早めに歌詞を出している。見た目がそれっぽく見える、そういうことをしています。これ、映像が静かに変わっていきます。本当は歌詞に合わせて何枚かの写真を変えたいのですが、講習では2枚くらい変えるのが精いっぱい、3枚、4枚になると大変難しくなります。

最後に、こういうような花火をつけて、効果音を入れるということも出来まして、画面で花火大会をやることも出来ます。作品は以上です。

十勝シニアネットでは、講習会が3時間なのです。3時間で1クール。従ってこの作品は、3時間で皆さんが出来るというレベルのものを作って提供しております。本当はもっともっと細やかに作れるのですが、3時間の中ということになると、それほど細かいものは出来ませんので、だいたいこの程度のものについては、受講する人は何とか3時間で完成をさせるという講習をしております。以上で終わります。ありがとうございました。

イチオシ講座紹介

イラスト・ショータイム

新陽パソコン倶楽部

大石 美香子



新陽パソコン倶楽部の大石 美香子と申します。皆さんに比べますと、まだまだ人生経験が足りなくて、ヒヨコに見えますが、よろしくお願い致します。

新陽では、そちらの壁に飾っておりますように、パソコンでお絵かきが主流となっておりますけれども、新陽はそこだけでは終わりません。これを平面から立体への物づくりに取り組んでおります。本日は、その中から3つほど作品を紹介させていただきます。

まず一つ目、フラドレスを作りました。Word 中の図形描写機能を利用して、はまなすを描きます。それを白生地にプリントして、メンバーがフラダンス用のフラドレスに仕立て上げました。こちらは、後ほど懇親会の場で皆さんにご紹介させていただきますので、楽しみにして下さい。

二つ目です。Word の図形描写機能を利用して、同じように絵を描きます。それを Excel のセルを利用して、皆さん女性の方だったら編み物をしたことがある方が多いと思うので、分かると思うのですが、編み込み図案に編集しなおし、ニット製品に仕上げております。

三つ目です。同じように図形描写機能を使って描いた絵をプリントアウトし、お料理で使ったあとの卵やうずらにそれを張り付け、イラデコネックレスを作っております。

では、実際に映像がありませんので、作品を皆さんに見ていただきたいと思います。新陽のテーマソングである、ノックノックのマジックにのせて、ファッションショーを開催したいと思います。

まず一つ目の作品は、ショールになります。モデルの方、お願いします。グレーのショールをまとっているのは、新陽のしっかり者のお姉さん、土門 和子になります。エンジのショールをまとっているのは、優しいお姉さん、神 マツ子です。こちらは、月を変形し、魚というテーマで絵を描いています。姉さん、絵の方をお願いします。皆さんに見せて上げて下さい。如何でしょうか。

続いて二つ目の作品は、新陽のダンディーな男性 奈良 賢がまとっておりますベストになります。こちらは月と大波、丸を利用して鶴を描いております。特にこのベスト、後ろも素敵になっております。くると回って、両面を見せて上げて下さい。

最後の作品です。こちらはマフラーと、イラデコネックレスです。マフラーは甘いマスクに似合わず、素敵な山男、菅原 厚がしております。ネックレスの方は、新陽きっての美人モデル、

高松 啓子です。高松が来ているドレスなのですが、こちらは和服をリユースしたものです。如何でしょうか。新陽のモデルの皆さん、もう一步前に出て、皆さんに見せて下さい。ここでカメラタイムを取りたいと思います。カメラがお得意な方、記念にぜひ写真撮影をお願い致します。前に出てきて撮して下さい。よろしいでしょうか。くると回して下さい、モデルの方たち。お願いします。有難うございました。



イチオシ講座紹介

複数枚の写真を使い、フォトショップでパノラマ写真

NPO 法人 とかちシニアネット

福原 季昭



とかちシニアネットの福原と申します。どうぞよろしくお願い致します。パソコンでパノラマ写真を作るということは、いろいろなソフトがあるのですが、私たちが使用しているフォトショップで、皆さんにご説明したいと思います。先ほど Windows Live でも、こういうふうに出るよというのを見せていただきました。後ほど、私も作ってみましたので、それもお見せしたいと思います。その前に、プリントした状態を皆さんにお見せして、こんなもんですよということを見ていただきたいと思います。

広い会場ですから、あまり大きく見えないかもしれませんが、写真としては大きなものになります。A3 ノビという幅で、プリントしています。だいたい2メートルぐらいあるかと思います。場所は日高山脈背景で、東京でのフォーラムの際に大変喜んでいただきました作品です。次に、プリンターの限界が3.20メートル、最大に伸ばしたものです。これは釧路湿原の細岡展望台から撮ったもので、11枚を自動でつなぎ合わせました。



それから、活用方法なのですが、私の地元の浦幌町というところで、毎年、「実りまつり」というのをやっているのですが、その参加される方の、ちょうどショーの盛りあがったところに全部 180 度撮ったのが、2.50 メートルほどあります。これも、こうやって名前を入れたりして、毎年、道の駅の額に入れていただいて、見ていただく。こういうイベントもやっていますよという宣伝にも使われています。

このように、例えば先ほどの釧路湿原の写真ですが、一枚一枚、少しずつ重なっているのですね。私は本来、アドビでは 15% から 40% 以上重なっているところがあれば、繋がりますよと言っていますけれども、安全を見て 50%。常に 50% 重なるように撮ると、3 枚の写真が 2 枚になっちゃいます。ですが、こうやって撮って、自動的にこういうふうにならな部分だけ切り抜いてくれるのですね。そして 1 枚につなぐという操作を、これ全部自動です。ですから、そのほかに先ほどの Windows Live で良いなっていうことで、あの Windows Live もかなりきれいに出来ますけれども、フォトショップの良いところは、レイヤーを使うために一枚一枚、どこか違うのがちょっとずれているとか、そういうことがあると、ここで補正できるのですね。そういうところが完璧なものが出るということで、私は気に入っております。皆さんにもお勧めしているということです。

実際の写真をフォトショップでパノラマにしてみます。レシピに書いてある通り、ファイルの新規のフォトショップマージ、パノラマという、ここにあります。これでただ読み込むだけです。すると、見ていただければ分かります。例として作ったのは 5 枚ですけど、5 枚をいっぺんに指定しまして、OK を押すと、ここに入ります。これで間違いがなければ OK を押すだけです。あとはパノラマとして一生懸命お仕事をしていますので、ちょっとお待ちください。間もなく一枚になって出てきます。こういうことになります。5 枚が自動的につながりました。

このままだと使い物にならないので、直すところがなければレイヤーを統合して、画像統合して、一枚の画像にします。そこで変形のゆがみというのを使いまして、これで形が悪ければ直して、切り抜きで OK を押すと。これで完成です。非常に簡単ですし、Windows Live もこれと同じように出来るのですが、中で少し完璧でないところがあったときなどは、フォトショップの方が直しやすいということでございます。

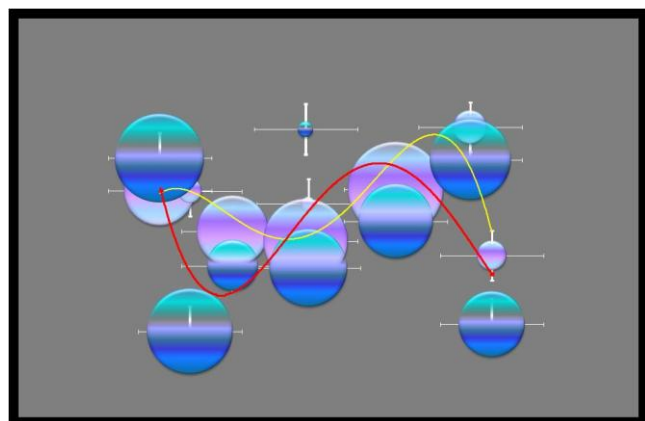
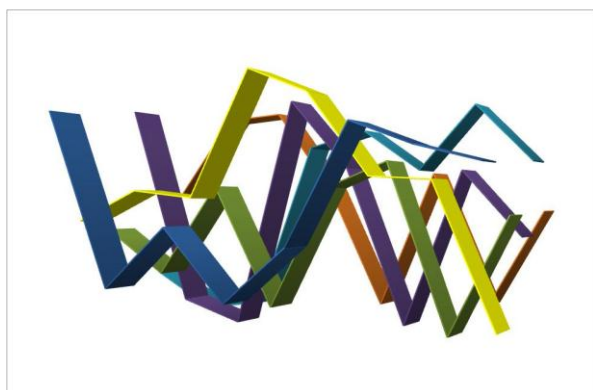
Live で作ったのも、お見せします。これ、Windows Live で作ったものです。先ほどマイクロソフトの方が説明されていましたが、出来は何もそんなに変わらないと思いますけれども、これはあくまでもレイヤー無しの一枚で出来ていますので、あとで部分的に直すということが出来ません。その場合は最初から作る必要があります。ここがフォトショップとの違いです。ご清聴有難うございました。



EXCEL でアートということですが、ご案内の通り乱数を使って、グラフ機能を使いながら自動的に図形を描く、そうすることによって非常に楽しい図形が一瞬に出来あがるということです。

一寸お見せしますが、例えばこれですね。これら全てが Excel のグラフ機能を使って作ったものです。これはイメージからすると、グラフの折れ線を使っているのだなというイメージが分かるかと

思いますけれども、これは、一つの参考ですけれども円ですね。これは等高線を使っているわけです。これは、バブル機能を使っております。



このバブルを使うと非常に楽しい、図形が出来上がるということがございます。これも一寸見づらいかも知れませんが、この図形のところに、ちょうど縦の線と横の線が、この円の中心で交差するということが上手く出来たということです。これを、もう一回再現すれば絶対に来ませんし、世界に一つしかない図形ということになります。

この日本地図ですけれども、これもグラフで作ったのです。グラフの散布図を使うと出来ます。それでは手順を示します。

<EXCEL 2007での手順>

1 準備

- ・ セル B2 $=\text{rand}() * 10$ に入力する これは乱数を発生する関数
- ・ これをコピーし、B9 まで貼り付け
- ・ B2 から B9 迄コピーし、I 列迄貼り付け
- ・ ファンクション key 「F9」 押して、全ての乱数が変化する事を実感します

2 - 1 グラフ機能「面」

- ・ セル B2 から I9 選択
- ・ 挿入 グラフ 面 - 2 - D 面 - 積み上げ面を選択する
- ・ 自動で配色されているので、「デザイン」で好みの配色を指定する * 後で変更可能
- ・ 「レイアウト」凡例、軸 - 主縦軸・主横軸、目盛線、各項目 「なし」を指定する

- ・ 1 系列毎に色を変える事が出来る 指定の系列右クリック 「データの書式設定」－塗りつぶし で 好みの色、グラデーションを活用し配色する
又、枠線の色で線なしを指定すると系列の境界が滑らかになる
 - ・ プロットエリア 右クリック－塗りつぶしで、グラデーションを活用して加工する事ができる
 - ・ 「F9」 押して、世界で一つしかない画像をつくる
 - ・ 完成したならば、速やかにグラフ（図）をコピーし、ペイントに貼り付け、保存する
- 2－2 グラフ機能 「バブル」
- ・ バブルの場合、乱数発生は 3 列 12 行（行は何行でも良いが、列は 3 列がポイント）選択
 - ・ 挿入－グラフ－その他のグラフ－バブル－3-D 効果付バブル を選択
 - ・ 自動で配色されているので、「デザイン」で好みの配色を指定する *後で変更可能
 - ・ レイアウトで、軸－主縦軸・主横軸 なし指定、目盛線、凡例もなし指定
 - ・ 表示されたバブルを右クリック－データ系列の書式設定－ここでグラデーション活用して配色します
 - ・ レイアウト－分析－近似曲線－その他の近似曲線オプション－系列 1 を選択－次の画面で多項式近似を選択し、次数 5 を指定－ 線の色で色 － 線のスタイルで 線の幅を指定
 - ・ レイアウト－分析－誤差範囲（標準偏差）－その他の誤差範囲オプション－で線の色・線の幅を指定します
 - ・ プロットエリア 右クリック － 塗りつぶしで、グラデーションを活用して加工する
 - ・ 「F9」 を押して、好みの画像を見出す

ファンクションキーF9で乱数を変えることで、図形が変わるのが分かります。

注意する事は、乱数の関数はどんどん変わっていきますから、良いなと思っていても、F9を押しますと、もう変わっちゃいますから、どんどん保存をしていくことが大切です。

このように楽しく、簡単に然も世界に一つしかない作品が出来る事をご紹介して終わりたいと思います。 ご清聴ありがとうございました。

広い大地 北海道にシニアネットの輪を広げよう



NPO 法人 とかちシニアネット

理事長 高橋 克司

本日、これだけ多くの方の出席をいただきまして、開催できましたことを大変嬉しく思いますし、また参加いただきました皆さんに、厚くお礼を申し上げたいと思います。

一寸経過等お話ししますけれども、ニューメディア開発協会さんが 10 年以上前から、現在の経済産業省が打ち出したメロウ構想に基づいて、シニアが生き生きとして社会参画し、シニアライフを充実するためには IT の活用が大切であり、その基盤、組織としてのシニアネットの育成、シニアがシニアの人にパソコン、インターネットをご指導するというのが、大切と考え、推進してきたのがシニア情報生活アドバイザー制度であります。この考え方に基づいて、経済環境あるいは予算厳しい中で、長年にわたってシニアネットの発展と、シニア情報生活アドバイザー制度の推進のために、今回のフォーラムもそうでございますけれども、毎年春と秋に 2 回、全国でどこかで開催をしてきました。そのことで、全国のシニアネットの交流、あるいは情報の共有化ということが出来まして、それで全国の各地域でシニアネットは発展を続けていまして、今ではシニアネットの存在感がますます高まっていることだと思っております。

ニューメディア開発協会さんの、長年にわたるご尽力に対して厚く御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。

さて、北海道内で、シニアネット、あるいはシニア対象のパソコンのクラブとして、組織として活動していてニューメディア開発さんに登録をしているというのは、理事長も申しておりましたけど、4 団体ということでございまして、札幌市、それから室蘭、帯広市というだけかと思っております。その他にもいろいろと活動されているところがあるかと思っておりますけれど、登録されているのは 4 団体ということでございます。

各団体は、それぞれ活発な活動をしているわけですが、皆さんもここに来られて感じていると思いますけれど、これまで皆さんと交流をしたとか、情報交換したということは、今までまったく無かったというふうに推察しているところでございます。今回のフォーラムと、これからの懇親会を通じまして、他の団体との交流、そして仲間作りをしながら、お互いに刺激しあって、各団体の発展に繋げて頂きたいと強く感じているところであります。

その為には

第一に、ここに居ます参会者の全員が、お帰りになりましたら、どうぞ本日のエキスを周りの多くの方にお話しして、お伝えをしていただきたいという事です。この事が、ニューメディア開発協会さんが最も期待しているところでありますので、私たちはその期待に応えようではありませんか。

よろしくお願いいたしますと思います。

第二に、本日ここに得られた絆を一過性に終わらせたくないと考え、そして、将来さらにこの絆を太くしたいと考えております。

その為には、北海道全体のホームページを作ってみてはどうかと考えております。ここに各団体の活動内容だとかニュースだとかですね、どんなこんな講座をやっているよとかいう事を、各団体が自らそこにアップする、そういう仕組みにしてはどうかということを考えております。

北海道は広いです。各団体がこのように一同に会するということは非常に至難の業であって、難しいと思います。そういったことをカバーするのが、そのようなホームページではないかなと考えております。具体的になったらご提案いたしますけれど、今はそういった考え方をしております。このことで団体の情報の共有化が促進されて、お互いの刺激にもなりますし、交流の輪がさらに広まるのではないかと確信しているところであります。そして、このような活動を、メディアを通じて PR すると事で、北海道各地域の行政の方、あるいはシニアネットに関心のある方に我々の活動を知ってもらう、引いては地域における組織の設立だとか発展に必ずや寄与できるのではないかと考えております。まだまだ北海道の各地、地域にシニアネットというのは広めて行かなければと考えております。

第三に、何といっても、シニアにパソコンの楽しさを指導するということは、すなわちシニア情報生活アドバイザーでございますけれども、先ほど理事長からお話がありました通り、全国で 3000 名の方のアドバイザーが活動されている。ところが北海道では 128 名ということで、大変少ないと思います。

どうぞ、この機会にシニア情報生活アドバイザーに挑戦をして頂きたいと考えております。その先には習ったことだとか、覚えたことを、周りの人に役に立ててもらい、そして少しでも社会に役に立っているという充実感を実感出来ますし、引いてはそのことが自分の生きがい作りになるのではないかと確信しています。どうぞシニア情報生活アドバイザーに挑戦していただければと思います。

最後になりましたが、企画・運営から全般を通じまして、行き届かない点もあったと思いますが、このフォーラムの趣旨に免じてご容赦いただければと思います。開催にあたり、北海道はやはり札幌市と考えまして、今日の運びになりました。会場の手配から、札幌市にある関係する行政との調整だとか、新陽パソコン倶楽部の高橋代表に大変お世話になりましたし、また、会員の方にも今日の運営に関しましてお世話になったということを感謝申し上げて、このフォーラムのすべてを終了させていただきたいと思います。ありがとうございました。

最後の最後になりましたですけれども、イチオシ講座というのをやりました。これは今まで全国のフォーラムで、こういう企画をしたのは初めてだと思います。それは、各団体でこんな面白い講座をやっているよということをご披露して、それを皆で習いながら、それを発展出来ればと考え企画しました。

新陽パソコン倶楽部の高橋さんが、イチオシというよりも芸術作品の本を出しました。ぜひ見ていただければ、この素晴らしさは分かるかと思いますが、マイクロソフトの社長も推薦しているということで、これは本当に素晴らしい芸術作品がこの場でご披露出来る事に大変嬉しく、今日のフォーラムの成果に更なる光を射した思いです。

皆様のご協力に感謝申し上げます。



交 流 広 場

活発な活動の様子がわかり、顔合わせての
交流が出来ました





素晴らしい作品です



付 属 資 料

- イチオシ講座解説
- アンケート結果

**パワーポイントで
テーマ「ハワイアンを踊ろう」、曲名「カイマナ・ヒラ」**



- 1) Webから、素材GIFアニメーションをダウンロードする。
 - ①検索「ホームページのおもちゃ箱」、HP「Web Toy Box/ホームページのおもちゃ箱」から
[アニメーション]、[工事中]、[南国ダンス少女2人]と[1人]を、フォルダにダウンロードする。
 - ②検索「素材の小径」、HP「素材の小径 (HP素材集・・・)」, [季節]、[夏1ハワイムード] から
[椰子の木]を、フォルダにダウンロードする。
 - ③検索「B00のIT講座」、HP「B00のIT講座」、(5)素材集「アニメーション壁紙、素材集(ブログ・・・)」
から、[はなびら]を、フォルダにダウンロードする。
 - ④ダウンロードしたGIFアニメを、スライドに「コピー」「貼付け」する。
- 2) スライドの背景を設定する。
 - ①右クリック「背景」・[塗りつぶしの効果]・「2色」・[ピンク・青]を設定する。
- 3) サウンドを挿入する。 曲名「カイマナ・ヒラ」です。
 - ①サウンドは、あらかじめCDから取り込み、専用のフォルダに入れておく。
 - ②「挿入」から「ビデオとサウンド」[ファイルからサウンド] [ファイル名] [曲名] [OK] [自動]を設定。
 - ③設定後の「効果」のメニューから、「効果のオプション」・再生の中止「現在のスライドの後」を設定。
- 4) アニメーションの設定。「スライドショー」→「アニメーションの設定」→、効果の追加を使う。
「GIFアニメ」を画面に位置決めし、クリックしてハンドルを表示し、アニメーションを設定する。
 - ①「椰子の木」は、必要数(4組)を「コピー」「貼付け」して配置し、グループ化する。
「開始・ワグ」・[クリック時] [下から] [さらに遅く]を設定する。
 - ②「はなびら」は、「開始・フェード」・[クリック時] [さらに遅く]を設定する。
 - ③「南国ダンス少女2人」は、「開始・フェード」・[軌跡・対角線右下へ]
[クリック時] [さらに遅く]を設定する。 「コピー」「貼付け」で人数を配置する。

※「順序の変更」で、踊り子が後ろへ、後ろへと、登場する様に順序を逆転してみる。

「南国ダンス少女1人」・「開始・フェードとズーム」で、画面を華やかにしてみよう。

- 5) 画面切り替えを設定する。「スライドショー」から「画面切り替え」[画面切り替えのタイミング]の
[自動的に切り替え]を指定し、曲の所要時間「2.51」を設定する。

新陽パソコン倶楽部

イチオシ講座

<イラスト作品ショー>

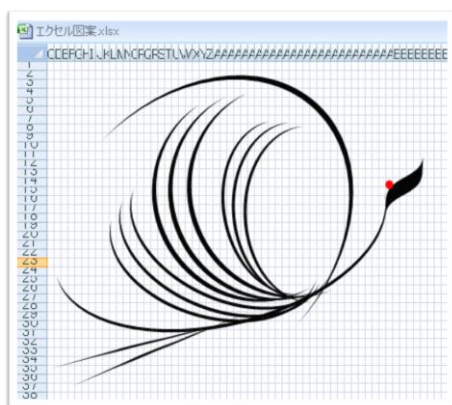
平面から立体への物作り

○ワードおえかき：フラ・ドレス

○エクセル図案：ニット作品

○暮らし上手：エコ上手

○エクセルお絵描き 図案おこしてニットに編み込み



○ワードでお絵描き ハマナスイラストを白生地転写



○暮らし上手はエコ上手

イラデコネックレス

ポプリ卵



複数枚の写真を使い、フォトショップでパノラマ写真にしよう！

パノラマ写真が出来るソフトは、デジカメ付属ソフトやフリーソフトなど沢山ありますが、このソフトは画像処理用のため、パターンを認識して特にきれいに合成できるのが売りです。

<操作手順>

- ① 用意する写真は2枚以上で、パソコン性能が許せば枚数は無制限です。
私の経験では15枚位もOKでした。今回は5枚をつなぎます。
写真は必ず50%近くの重複部分が必要です。(重ねるデータ)
- ② バージョン6で説明しますが、以降のバージョンでも同様です。
メニューから「**新規**」「**Photomerge Panorama**」を選択し、今回は用意した5枚のファイルを指定します。間違いなければOKすると自動的につながります。
- ③ ツールから「**切り抜きツール**」を選択し、画像のない透明部部分が入らないように、トリミングします。
- ④ メニューの「**レイヤー**」「**画像を統合**」でレイヤーを1枚にしてから、メニューの「**イメージ**」「**変形**」「**ゆがみ**」で補正します。
- ⑤ 最後にメニュー「**ファイル**」「**別名で保存**」で明快な名前を付けて保存し完成です。
後はプリント用やBlog用など用途にあった処理をして下さい。

EXCEL で ART

＝乱数を発生させて、これを基にグラフの機能を使い、思いがけない図形が出来るのが楽しい＝
＜EXCEL 2007での手順＞

1 準備

- ・ セル B2 $=\text{rand}()*10$ に入力する これは乱数を発生する関数
- ・ これをコピーし、B9 まで貼り付け
- ・ B2 から B9 迄コピーし、I 列迄貼り付け
- ・ ファンクション key 「F9」押して、全ての乱数に変化する事を実感する

2 - 1 グラフ機能「面」

- ・ セル B2 から I9 選択
- ・ 挿入 グラフー 面ー 2-D 面ー積み上げ面を選択する
- ・ 自動で配色されているので、「デザイン」で好みの配色を指定する *後で変更可能
- ・ 「レイアウト」凡例、軸ー主縦軸・主横軸、目盛線、各項目 「なし」を指定する
- ・ 1 系列毎に色を変える事が出来る 指定の系列右クリック 「データの書式設定」ー塗りつぶし で 好みの色、グラデーションを活用し配色する
又、枠線の色で線なしを指定すると系列の境界が滑らかになる
- ・ プロットエリア 右クリックー塗りつぶしで、グラデーションを活用して加工する事も
できる

- ・ 「F9」押して、世界で一つしかない画像をつくる
- ・ 完成したならば、速やかにグラフ（図）をコピーし、ペイントに貼り付け、保存する

2 - 2 グラフ機能 「バブル」

- ・ バブルの場合、乱数発生は 3 列 12 行（行は何行でも良いが、列は 3 列がポイント）選択
- ・ 挿入ーグラフーその他のグラフーバブルー3-D 効果付バブル を選択
- ・ 自動で配色されているので、「デザイン」で好みの配色を指定する *後で変更可能
- ・ レイアウトで、軸ー主縦軸・主横軸 なし指定、目盛線、凡例もなし指定
- ・ 表示されたバブルを右クリックーデータ系列の書式設定ーここでグラデーション活用して配色する

- ・ レイアウトー分析ー近似曲線ーその他の近似曲線オプションー系列 1 を選択一次の画面で
多項式近似選択し、次数 5 を指定ー 線の色で色ー 線のスタイルで 線の幅を指定
- ・ レイアウトー分析ー誤差範囲（標準偏差）ーその他の誤差範囲オプションーで線の色・

線の幅

を指定する

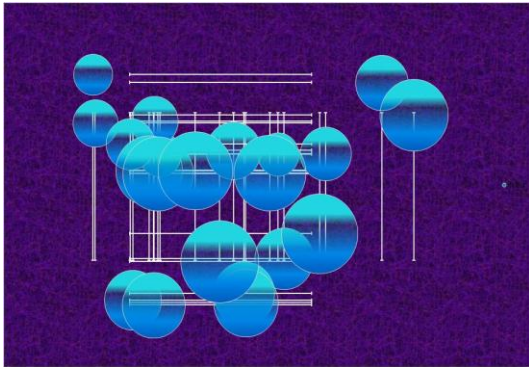
- ・ プロットエリア 右クリックー 塗りつぶしで、グラデーションを活用して加工する
- ・ 「F9」を押して、好みの画像を見出す

2 - 3 グラフ機能 「折れ線」

- ・ 3-D 折れ線選択
- ・ 「レイアウト」で上記 2 - 1 と同じように、各項目「なし」を指定する
追加で、軸ー奥行き軸も「なし」指定する
- ・ 3-D 回転 回転オプション で X 角度 50 度、Y 角度 0 度指定 好みに合わせる

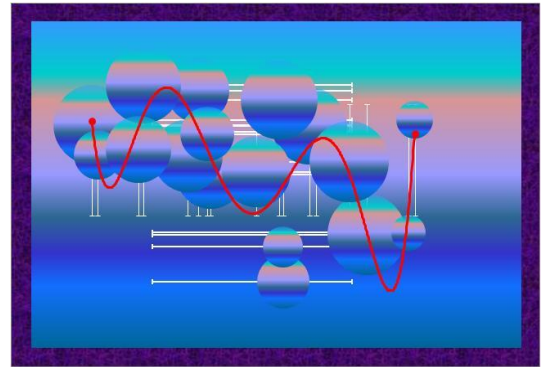
事

バブル バブル 誤差範囲

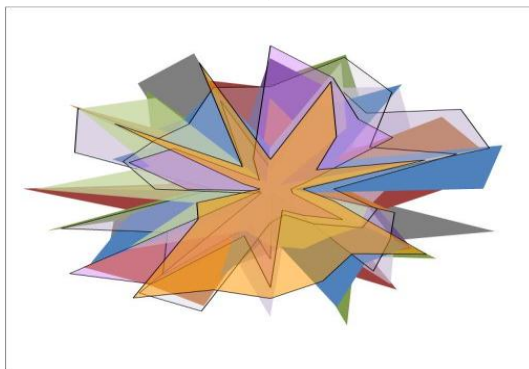


例

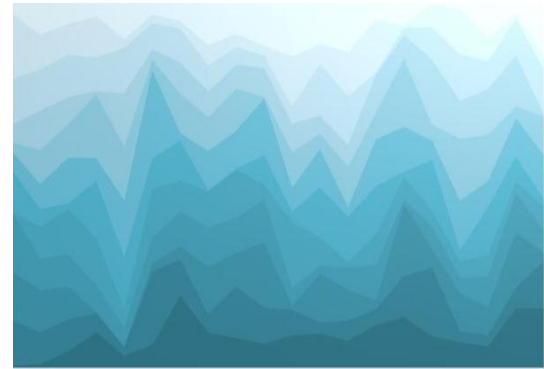
バブル バブル 近似曲線 誤差範囲



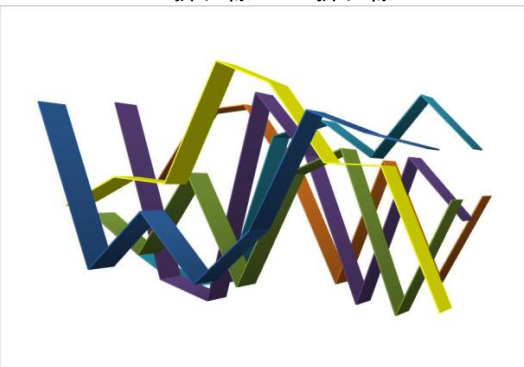
レーダー 塗りつぶしレーダー



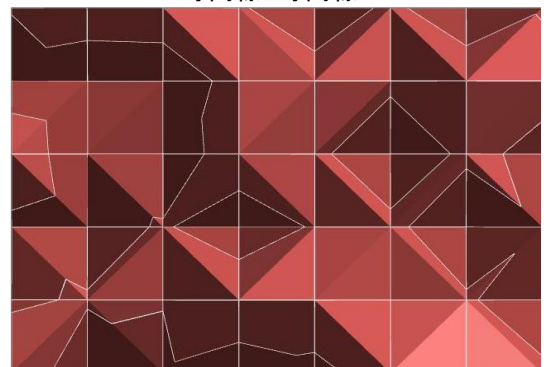
面 2-D面



折れ線 3-D折れ線



等高線 等高線

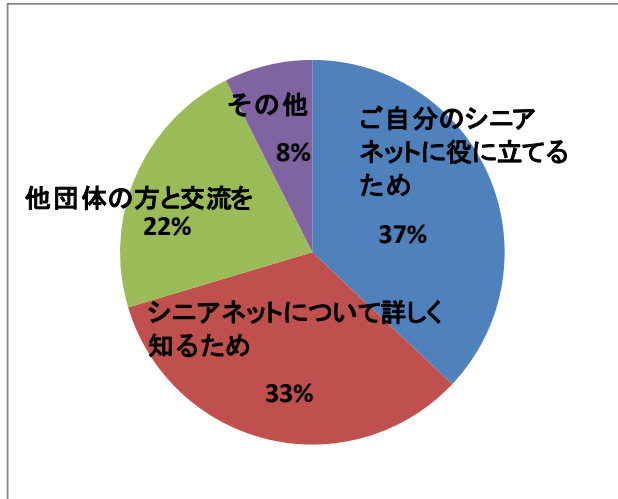
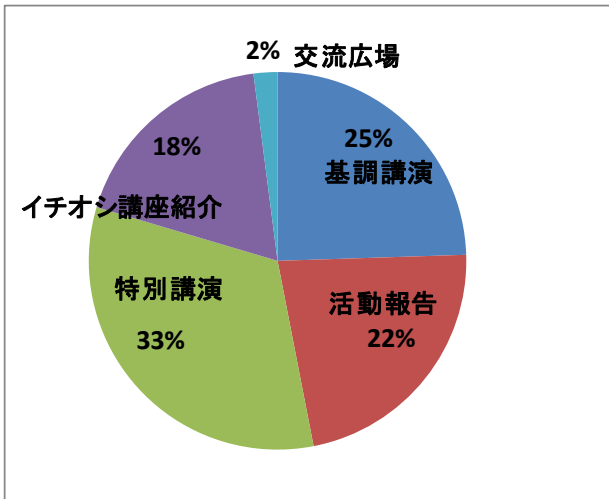


散布図 平滑線

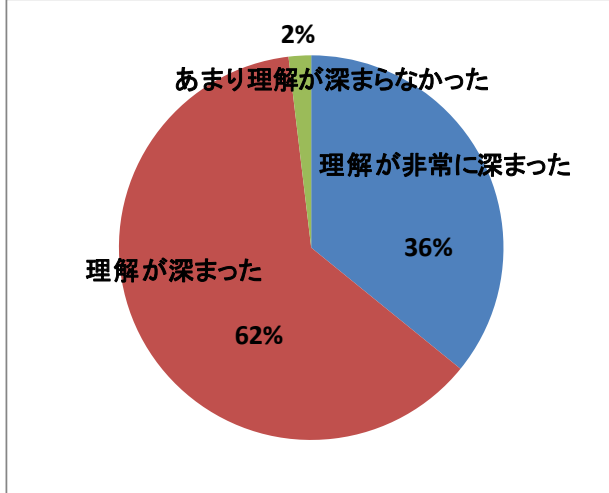


アンケート集計結果

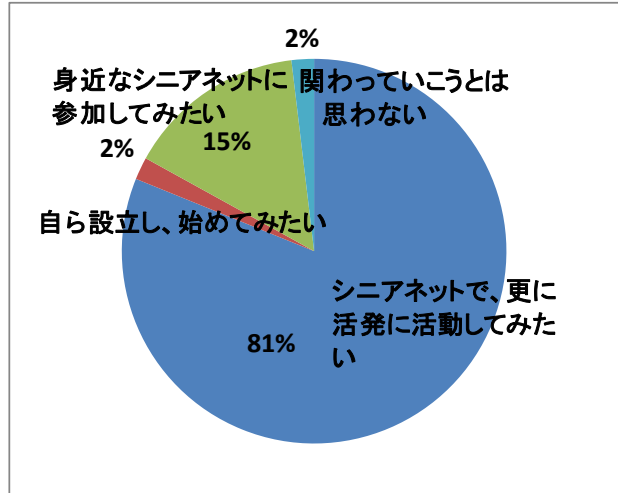
質問1 どのプログラムが最も参考になりました(回答49) 質問2 参加された動機について(回答54)



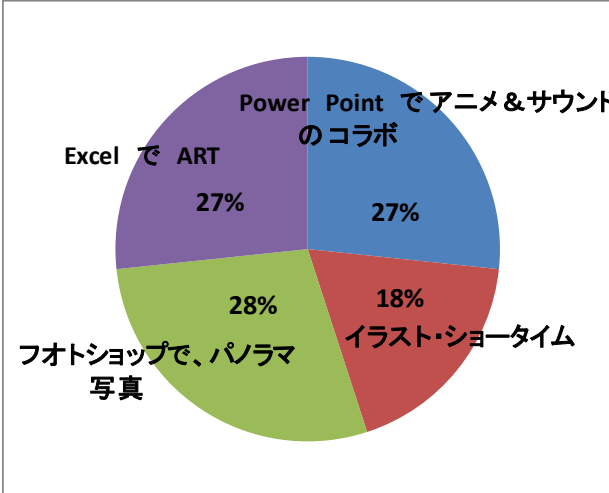
質問3 シニアネットの活動について(回答53)



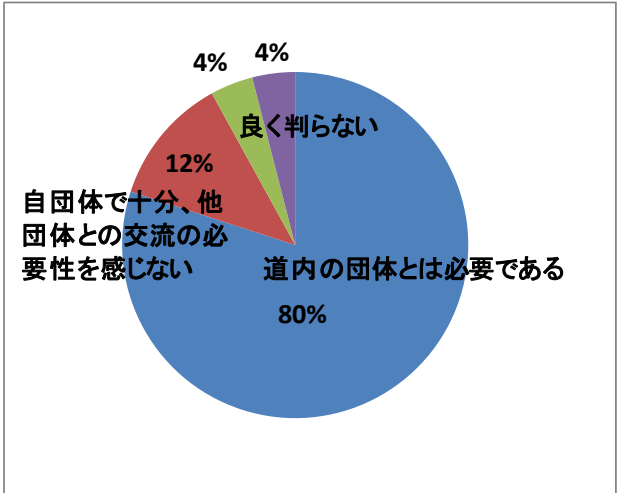
質問4 今後どのように関わっていきますか(回答53)



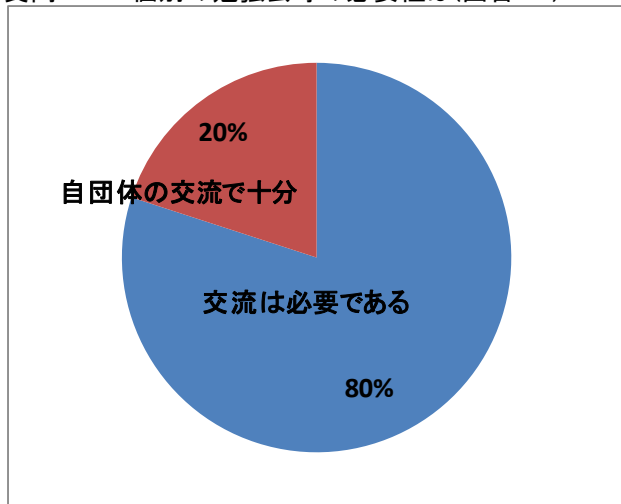
質問5 イチオシ講座、挑戦したい講座は(複数回答61)



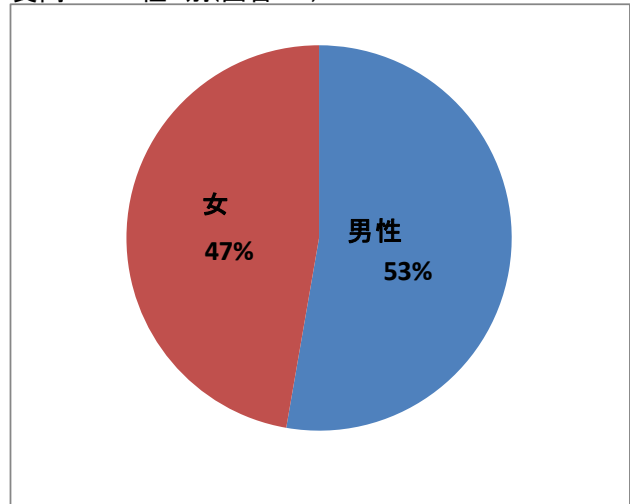
質問6 他の団体との交流・情報交換の必要性(回答50)



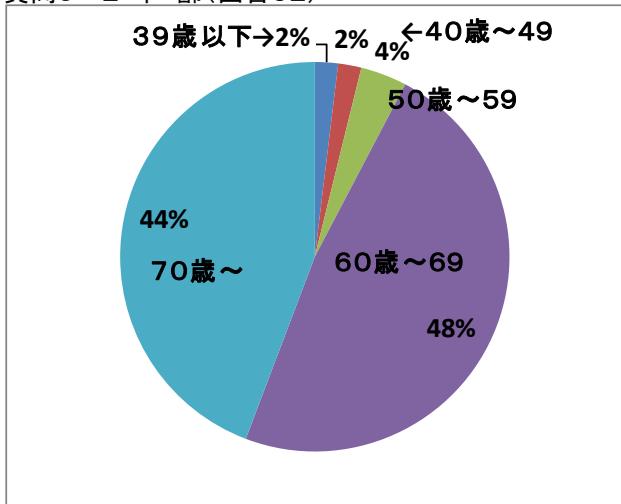
質問7 個別の勉強会等の必要性は(回答30)



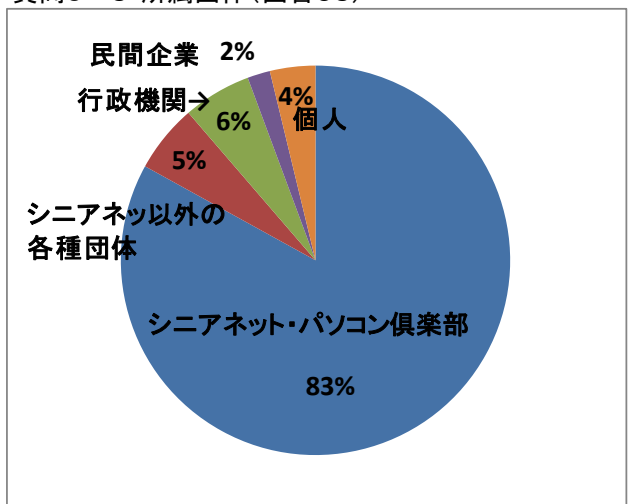
質問9-1 性別(回答55)



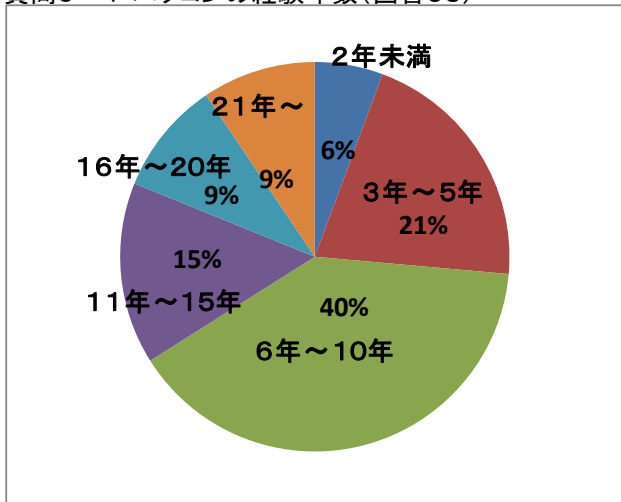
質問9-2 年齢(回答52)



質問9-3 所属団体(回答53)



質問9-4 パソコンの経験年数(回答53)



質問8 シニアネットの普及拡大に必要な事は

1. これからは、このような交流を広め、全国的なシニア広がりへ
2. まだまだ底辺の拡大について、話し合いが必要
3. 地域と密接な関係。個性があるので、他団体との交流が大きな意味をもつかどうか確信が持てない
4. 活動内容が多くの人に知られる事が必要
5. 行政機関のバックアップ必要 場所・インターネット環境
6. 1年に1度集まる事を考えては
7. 周知活動の強化、設立への支援

その他のご意見

- ・ 休憩時間をもう少し、長めに取って欲しいです
- ・ 質問の時間があれば良かったです